
目次

1	調査の目的	2
2	調査の内容	2
3	調査の結果	2
4	結果（質問と回答）	3
	問1	3
	問2	5
	問3	9
	問4	11
	問5	13
	問6	18
	問7	23
	問8	29
	問9	33
5	各問の考察	40

巻末

- 参考資料 1 アンケート 質問文
2 問2～問9 回答数一覧

1 調査の目的

町会自治会では、安全安心で住み良いまちづくりのため、各地域で主体的に活動をしているが、会長及び役員のなり手がいない悩みを抱え、なかなか世代交代が進まない現状がある。そのため、このアンケートによって現在の町会・自治会の役員の考えを把握し、今後の町会の担い手づくりの参考とするものである。

2 調査の内容

- (1) 調査対象 町会・自治会役員
- (2) 配布数 189
- (3) 調査期間 平成 29 年 10 月 26 日～11 月 20 日

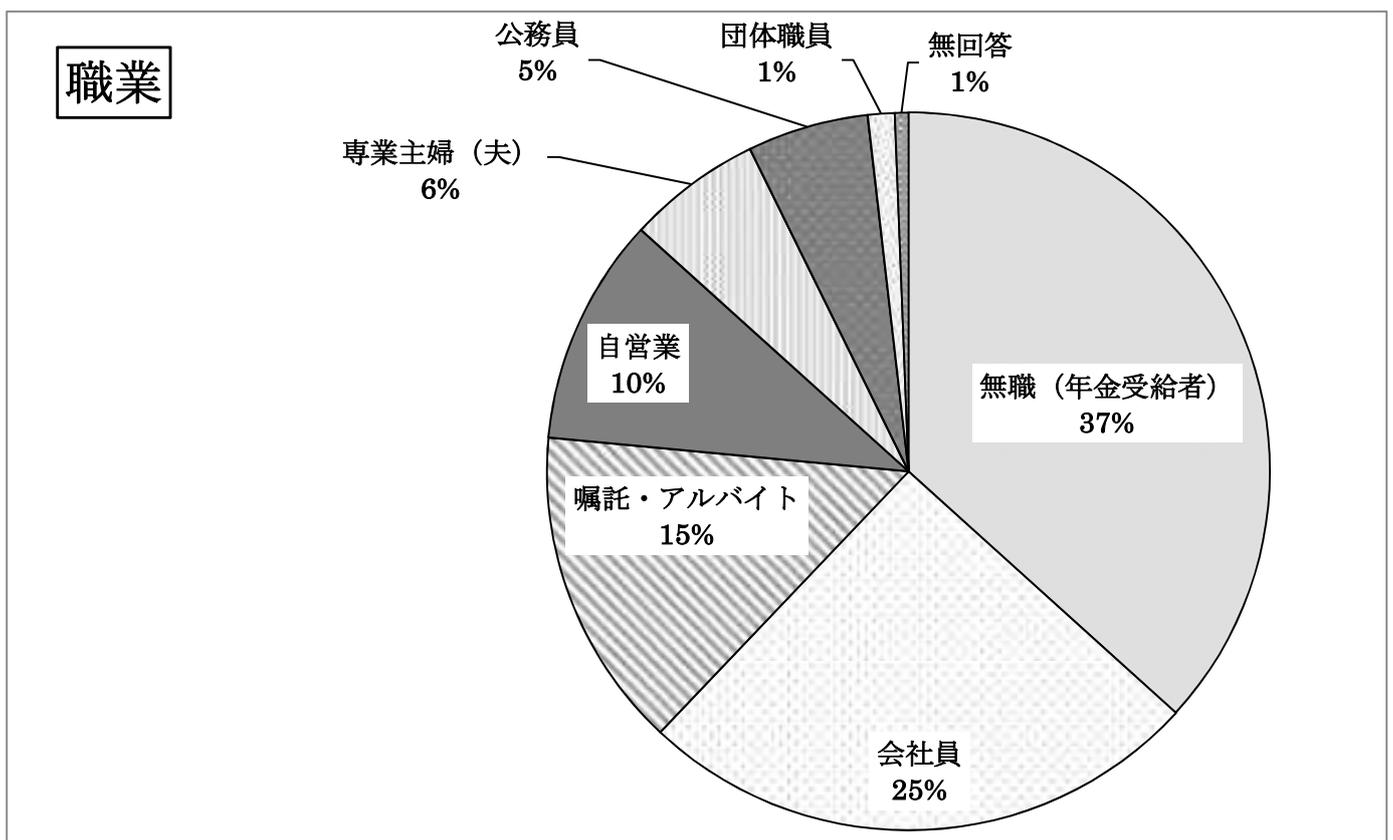
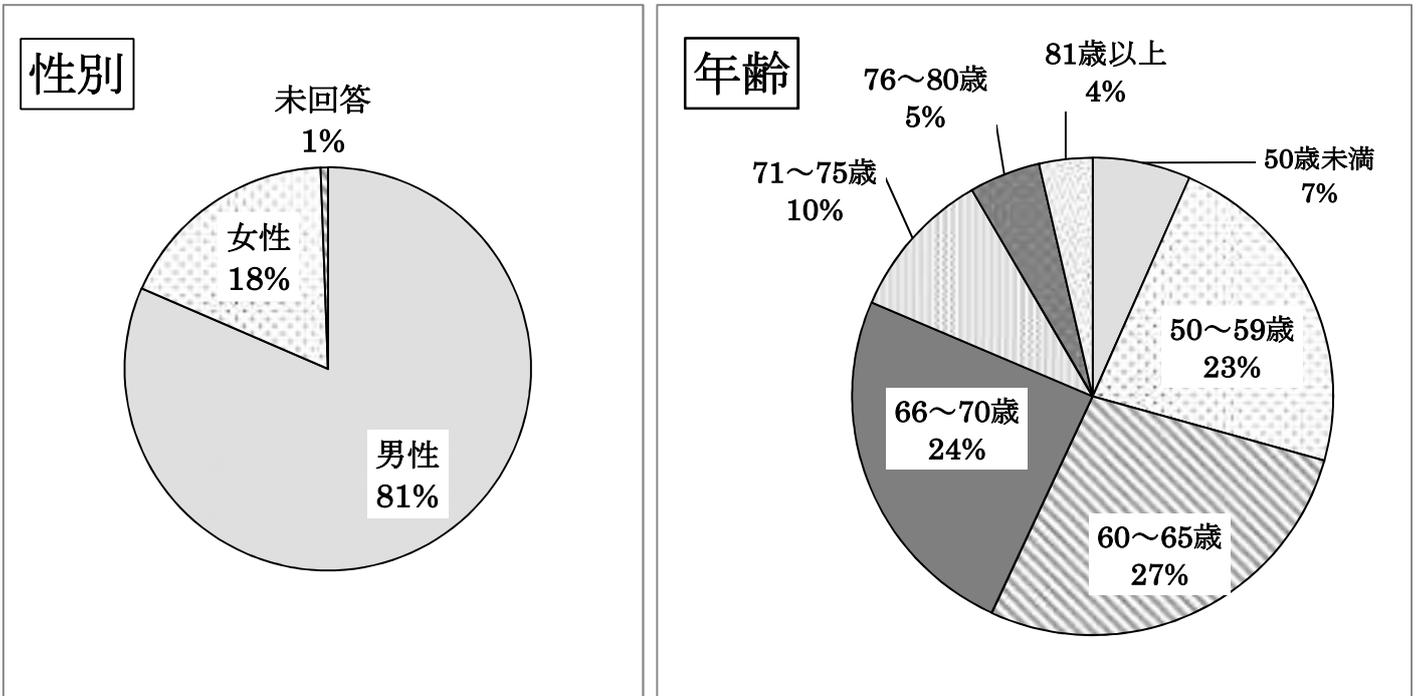
3 調査の結果

- (1) 配布数 189 通
- (2) 回答数 169 通（白紙回答除く）
- (3) 回答率 89.4%

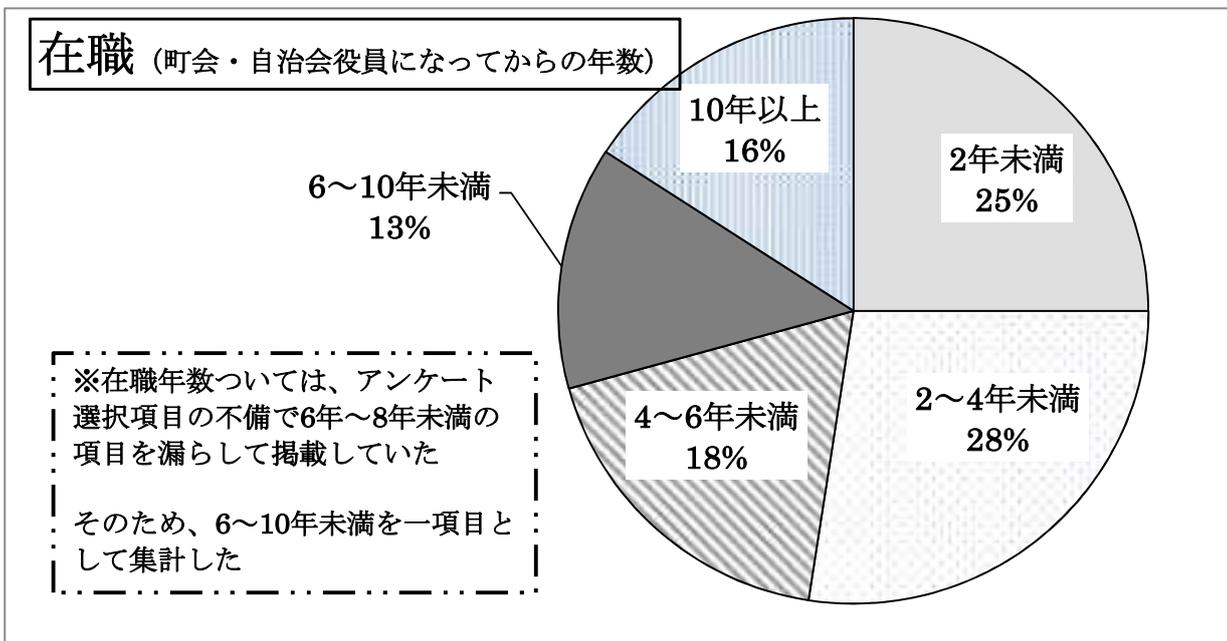
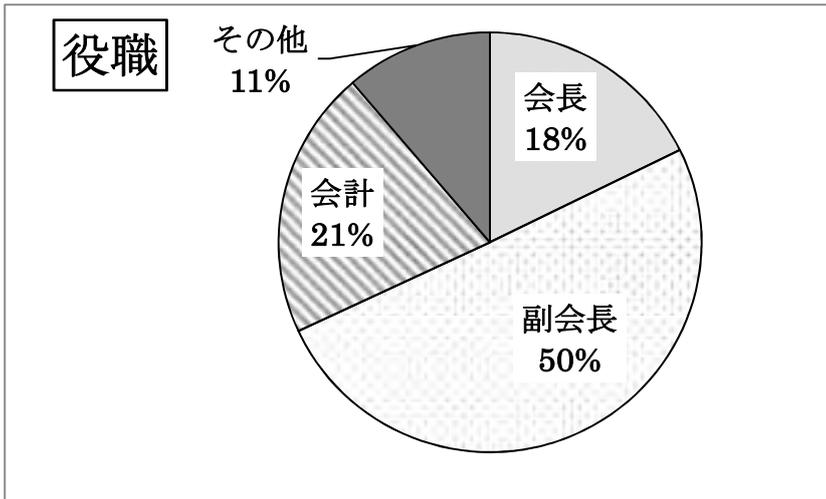
4 結果

問1 あなた自身についてお聞きします。

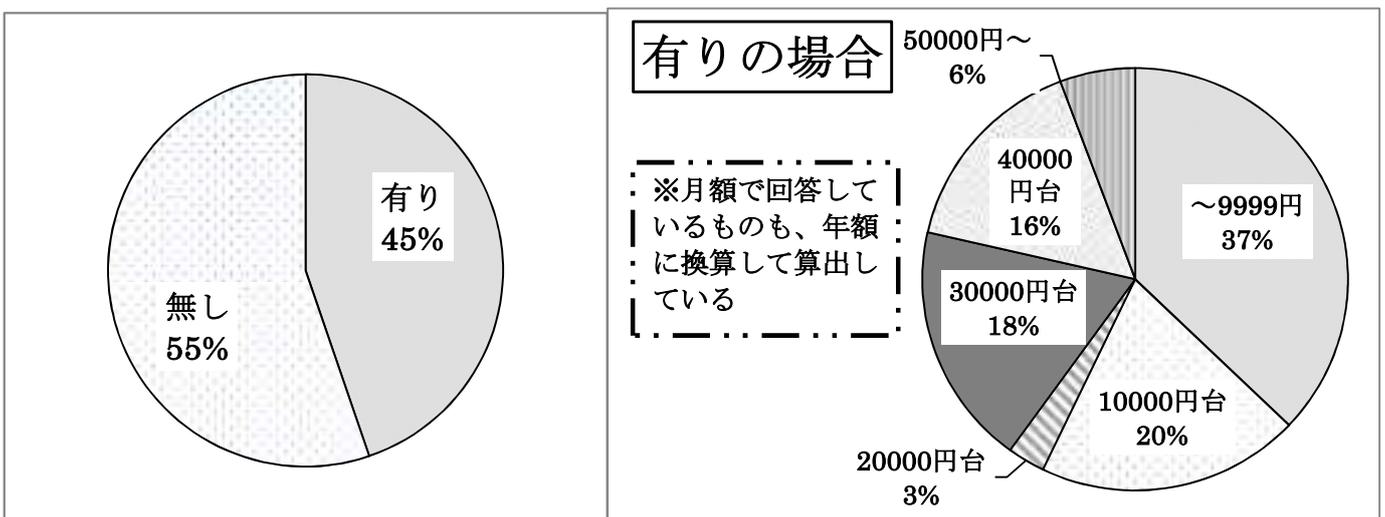
①性別・年齢・職業をお答えください。



②町会・自治会活動についてお答えください。



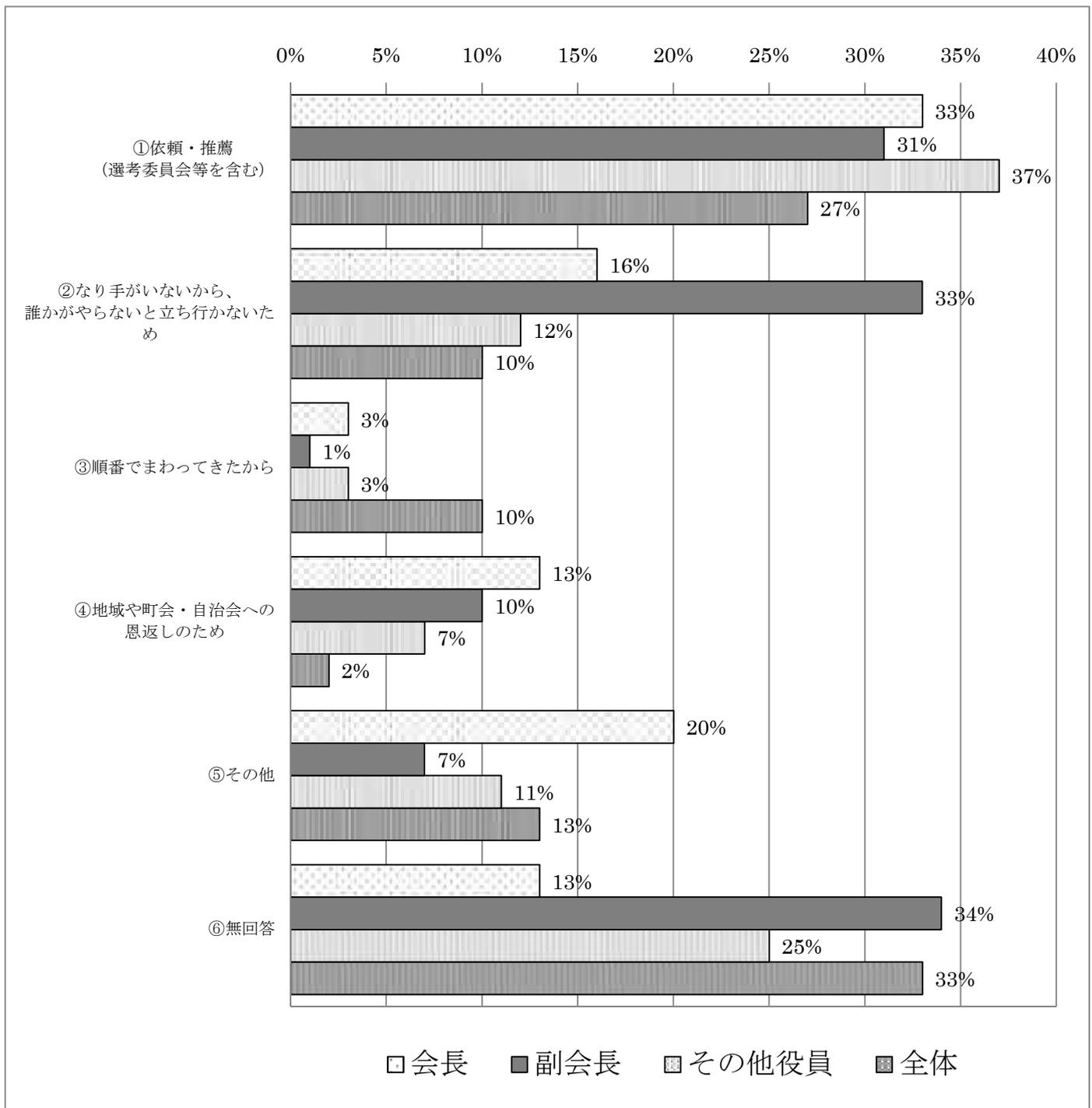
③町会・自治会から手当等（謝礼を含む）は支給されていますか



問2 あなたが役員を引き受けたきっかけ、理由を教えてください。

問2は記述式であるが回答内容を集計したところ、6つの項目に集約することができたので、下記の項目ごとに割合を算出した。

- ①依頼・推薦等（選考委員等を含む）
- ②なり手がいないから、誰かがやらないと立ち行かないため
- ③順番でまわってきたから
- ④地域や町会・自治会への恩返しのため
- ⑤その他
- ⑥無回答



1 依頼（推薦委員・選考委員等含む）

- 退職前から役員になるようにみんなから言われていたため。ルールが敷かれていた。
- 同期からの声かけと町会盛り上げにより。
- ◇■前役員から役員に就任して欲しいと強く要望された。
- 定年退職後に頼まれ、だんだん抜けられなくなった。深みにはまってしまった。
- 退職前から要請されていたため、退職を機に引き受けることにした。
- 子ども会に頼まれて
- ◇■選考委員からの推薦
- ◇前会長、副会長から要請を受けた。
- 学校（中学）P T A、地域、町会からの要請に応えた
- ◇依頼があったから。
- 60歳正社員定年退職と同時に再三依頼があった。役員2年間という気持ちで引き受けた。
- ◇勧誘による
- ◇町会の理事をやっていた時に三役の方から町会の役員を頼まれたため
- ◇町会長から直接依頼を受けたため。当時、退職して暇でもあった。また、近所の人との付き合いも少なかった。
- ◇当時の会長に依頼されたため。
- ◇代替わりで同世代のメンバーが会長、副会長、会計等に就任したから。前会長からの依頼もあった。
- ◇ほかの役員から依頼があった。
- ◇強い要請があり、引き受けた。
- ◇元役員からの推薦
- ◇■町会長が10人程度で自宅に来たため、断れなかったから。（趣味や町内会の別の役員も行っており忙しかったのに）
- ◇同級生が辞めると同時に元町会長や各O Bの方々等多くの推薦を受けて役員を引き受けた。
- ◇信頼する前任の会長より要請を頂いて受諾した。
- ◇当時の役員にしつこくお願いされ、仕方なく
- ◇前役員に「あの人が真面目そうで良いのでは」と推薦されたため
- ◇年間の町会行事に良く参加協力して楽しませてもらっていたし、子ども会会長後に中学のP T A支部長も経験した。元町会長の相談役後、役員が自宅に来て役員を頼まれたため。
- ◇町会O Bからのすすめ。
- ◇地域の親睦団体に加入しており、そのメンバーが役員選考委員会で推薦をされて役員を引き受けることになった。
- ◇■知人からの強い推薦を受けた。都内の会社に勤めていたので地元の事が分からなかったが、役員になり分かるようになった。
- 町会から役員としての声掛けを頂いたため。自分としても町会に貢献できれば幸いと考えて。
- 断りきれず、半ば強引に近く引き受けざるをえなかった。
- 当時の町会長の依頼で（町会役員経験は一切なかった）
- 町会の役員を何年もやってきた為誘われた。二度目の声掛けで。

■引き受ける人がおらず、頼み込まれてしまった

■最初は手伝いからはじまり、当時の会長から要請があり、集まりが好きなこともあって引き受けた。

2 他になり手がいないから、誰かがやらないと立ち行かないため

●もともと会計係をやってくれと言われて役員になったが、そもそも商店街の役員、係などが町会役員と重なっていたり、年齢などの順番でまわってきたりするため、流れでやらざるを得ない状況になっている。

●仕方がないから

●役員を引き受ける人がいなかったため

●ほかに適任者がいなかった

●前会長が体調を崩し、副会長だった私が引き継いだ。全然自信はなかったが、仕方なく。

◇役員のみ手がおらず、誘われた。組織を見ると大変な状況のため、役に立てればと思い、引き受けた。

◇役員を引き受ける人がいないので手伝ってほしいとの事だった。

◇役員の不足によりやむなく受け入れる

◇現在在席している組の役員選出は交代制ではなく、現職の組長が交渉して決めていく形。前役員の方が、数年続けて役員をされており、受け手もいなかったため。

◇■ほかにやってくれる人がおらず、町会が成り立たないと思ったため。

■役員をやる人がおらず、2年間と言われたがそれ以上経過している

■次期の会計のみ手がいないためお願いされた

■町会の常任委員で参画し、1期協力して欲しいとのことだった。

■事前に話があり、少しくらいならと軽く考えていた。短い期間（2年位）で他にいないなら、と思って引き受けた。

■同じ組の中で全員に声掛けしたものの、誰も引き受けてくれなかったため、やむを得ず。（背景には、共働き世帯の増加や老々介護等、自分の生活以外に余裕がなくなっている人が増加していることがあると思う。）

■町会設立時に参加していた経緯があり、受けざるを得なかった。

■会長候補者選考委員の一人として候補者数名の方に依頼したが、会長を引き受けてくれる人がおらず、町会消滅の危機となり、2年間の条件で再度会長を引き受けたことがあった。（元会長）

3 順番でまわってきたから

●順番だと言われやむなく引き受けた

◇役員が順番でまわってきた為

■隣組の順番で選出され、役職も指定されました。

■順番制だったため引き受けたが、やめられない。

4 地域や町会・自治会への恩返しのため

- 長く町会に居住している為、恩返しの意味も込めて。町会役員としてお役に立ちたい。
- ◇長年町会の方々にお世話になってきた為。
- 在職中の勤務地は地方が多く、町会に協力できなかったのが、定年退職後は率先して町会に協力するという事で、町会役員を引き受けた。
- ◇必要とされている事に共感し自分にできることを地域貢献させていただければと思い引き受けた。“できない理由を言わない”が私のモットーなので、少しでもお役に立てればと思う。
- ◇PTA役員をしていた時期に生徒の世話を協力してくれていたため、少しでもお役にたてればと思って引き受けた。
- ◇地域貢献
- ◇町会に転入した際、周りの方々に大変良くしてもらい、新しい土地での生活を楽しいものにしてきた。それから20年が過ぎ、何か町会の役に立ちたいと思って引き受けた。
- ◇長年地域にお世話になっているので、一度は恩返しのつもりで引き受けた。
- ◇地元で恩返ししたかったため
- 定年退職をして余裕ができたため、又生まれ育った場所であるため。
- せっかく町内に居住しているのだから、少しでも町内の役に立てればと微力ながら町会を盛り上げることができればと思い引き受けた
- 中学校PTA本部をやっており、町会への地域貢献のため
- 今まで自身が住んでいる地域、人々とのつながりが少なかったのが退職を機に関わりを持ち、より多くの事を皆さんと考え行動出来たらと考え役員になった

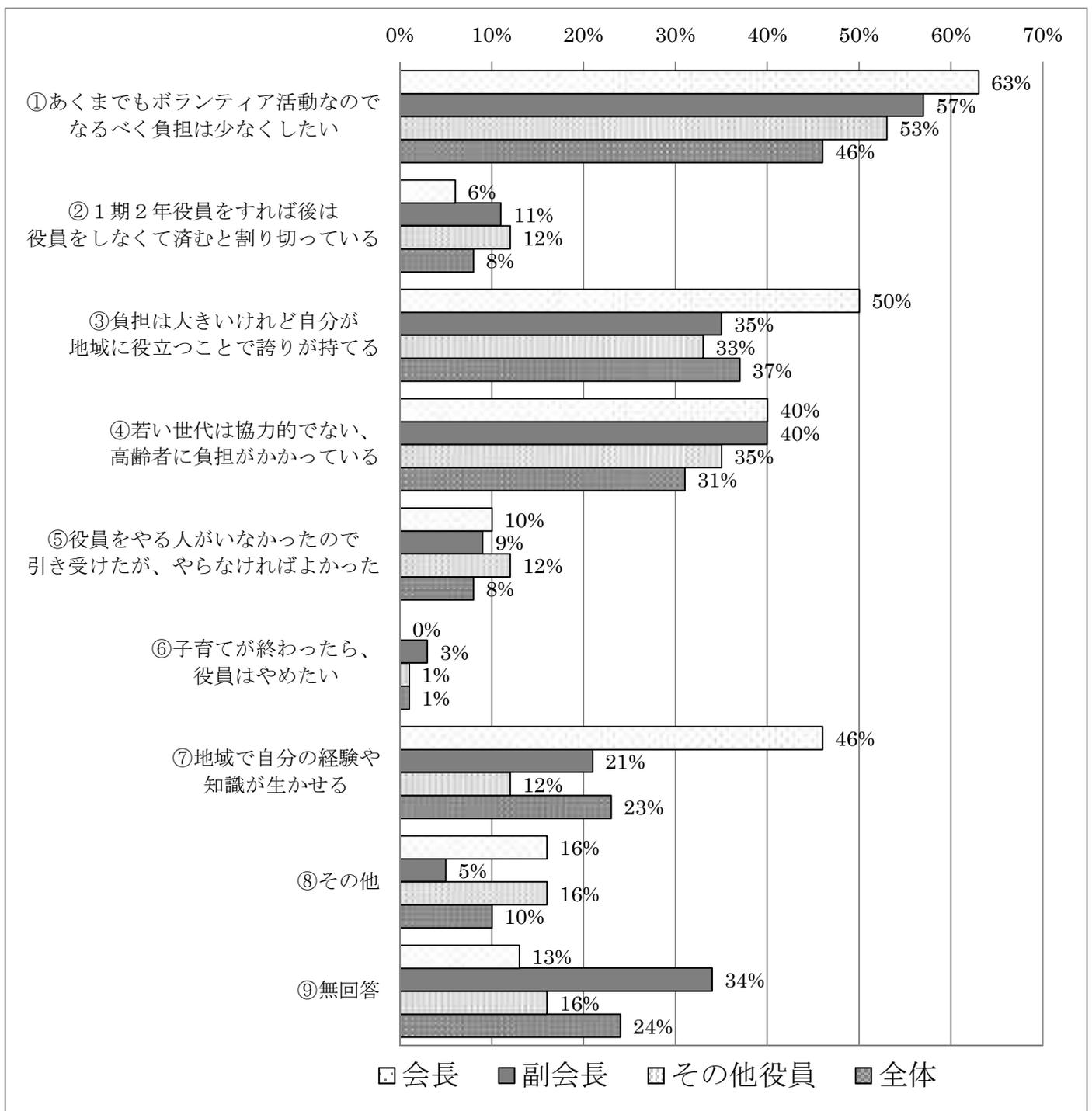
5 その他

- 当町会には体育委員会があり、それを25年続けてきて、町会運営の大切さが身に染みため。仲間も多かったから。
- 女性会長を元気づけるため
- 地元（福生）に生まれ育ったため、地域の事は幾分精通していたから
- 以前に役員経験があり、活動の改善に思うところがあったから。前会長辞任理由が体調不良だったため。
- 時間的余裕があった事。町会の現状を見ていて、改善すべきことが多々あり、また町会が少子化及び高齢化が進む中でこうあるべきだという考えを実現したため。
- ◇子供会役員、中学校支部役員を通じて町会との絡みが多くあり、人間関係もできていたし、特に断る理由がないため引き受けた。
- ◇子供が小さいときに祭礼等に参加したため
- ◇会社定年を機に役員を引き受けた
- ◇市のボランティア会から引き続けている（棟委員になり、そのまま）
- ◇町会の下部組織に関わっていたから。
- ◇自分の親が深く地域に関わっている姿を見て
- 前役員（町会長・副会長）が親戚だったため
- 地域の人と知り合いになり、親しくなったことから。
- 退職後、地域のつながり等のため
- 順番で理事、組長をして顔見知りになった事

問3 役員として、あなたの考えに近いものを教えてください。（複数回答可）

選択肢

- ①あくまでもボランティア活動なのでなるべく負担は減らしたい
- ②1期2年役員をすれば後は役員をしなくて済むと割り切っている
- ③負担は大きいけれど自分が地域に役立つことで誇りが持てる
- ④若い世代は活動に協力的でない、高齢者に活動負担がかかっている
- ⑤役員をやる人がいなかったなので引き受けたが、やらなければよかった
- ⑥子育てが終わったら役員はやめたい
- ⑦地域で自分の経験や知識が活かせる
- ⑧その他（自由記述）



その他自由記述

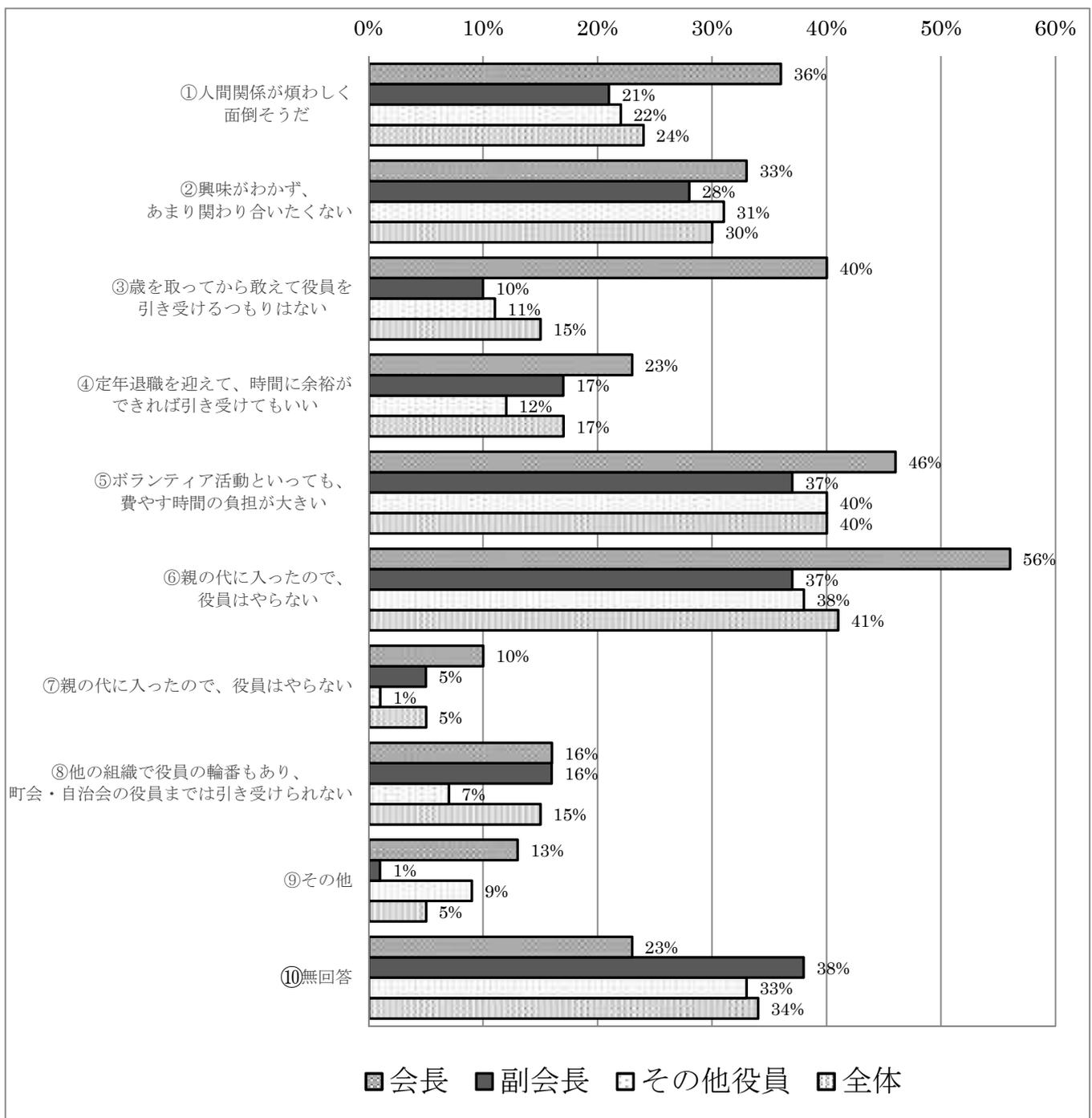
●会長 ◇副会長 ■その他役員

- 副会長をしていた時に町会を良くしたい、改善したいと考えていたが、思いもよらず会長に指名され、着実に良くしていきたいという心境。
- 商売をやっているという理由だけで断りづらく、仕方なく引き受けている。昔は楽な状況であったかもしれないが、今は生計を立てるのがやっとなので役員を引き受けられる余裕があるわけではない。（普通のサラリーマンと変わらない）
- 誰かが引き受けなければ、地域の防災・環境美化・助け合いの輪が広がらない。
- 会員の人々が協力的でない点がある
- 今まで地域でお世話になっている御礼と思っている
- 役員でない若い世代も、PTAも良く協力してくれる
- 役員を引き受けたからには任期が終わるまでしっかり責任を果たしたい。
- ◇地域の中での交友を多く保つことができる。
- ◇45年間サラリーマンをやっていたので、色々と勉強になる。
- ◇震災、災害多発から地域の人との結びつきの大切さを痛感している。微力ながら町会活動を通じて少しでも貢献できればと思っている。
- ◇町会の人とコミュニケーションが取れる
- ◇少しでも若い世代に引き渡したい
- ◇一つの経験と考えている。地域の活動にはなるべく参加したいと思っている。
- ◇地域への知見が深まる。
- 負担は大きいですが地域の人に喜んで頂ければ嬉しいという想いでやっている。
- 自分に相っていない。
- 地域に貢献できる、しいては市の役に立つことができる
- 住んでいる地域の人達を知る上でも一度はやってみて欲しい。
- 代々暮らしてきた地区なので割り切っている。
- 本人がやるというなら別だが、高齢者には負担をかけない方が良く思う。
- 高齢者の一人住まいが増加し、町会の維持が難しくなっている
- ほかの組織の役員もしており、活動には限界がある
- 自分の地域をより住み良い環境にしたい。又、住民間のコミュニケーションを図っていきたい

問4 一般会員の方は役職に就くことをどう考えていると思いますか？（複数回答）

選択肢

- ①人間関係が煩わしく面倒そうだ
- ②興味がわかず、あまり関わり合いたくはない
- ③年を取ってから取敢えて役員を引き受けるつもりはない
- ④定年退職を迎えて時間に余裕ができれば引き受けてもいい
- ⑤ボランティア活動といっても費やす時間の負担が大きい
- ⑥行事の手伝いはするが、役員にはならない
- ⑦親の代に町会に入ったので、役員はやらない
- ⑧ほかの組織で役員の輪番もあり、町会・自治会の役員まで引き受けられない
- ⑨その他（自由記述）



その他自由記述

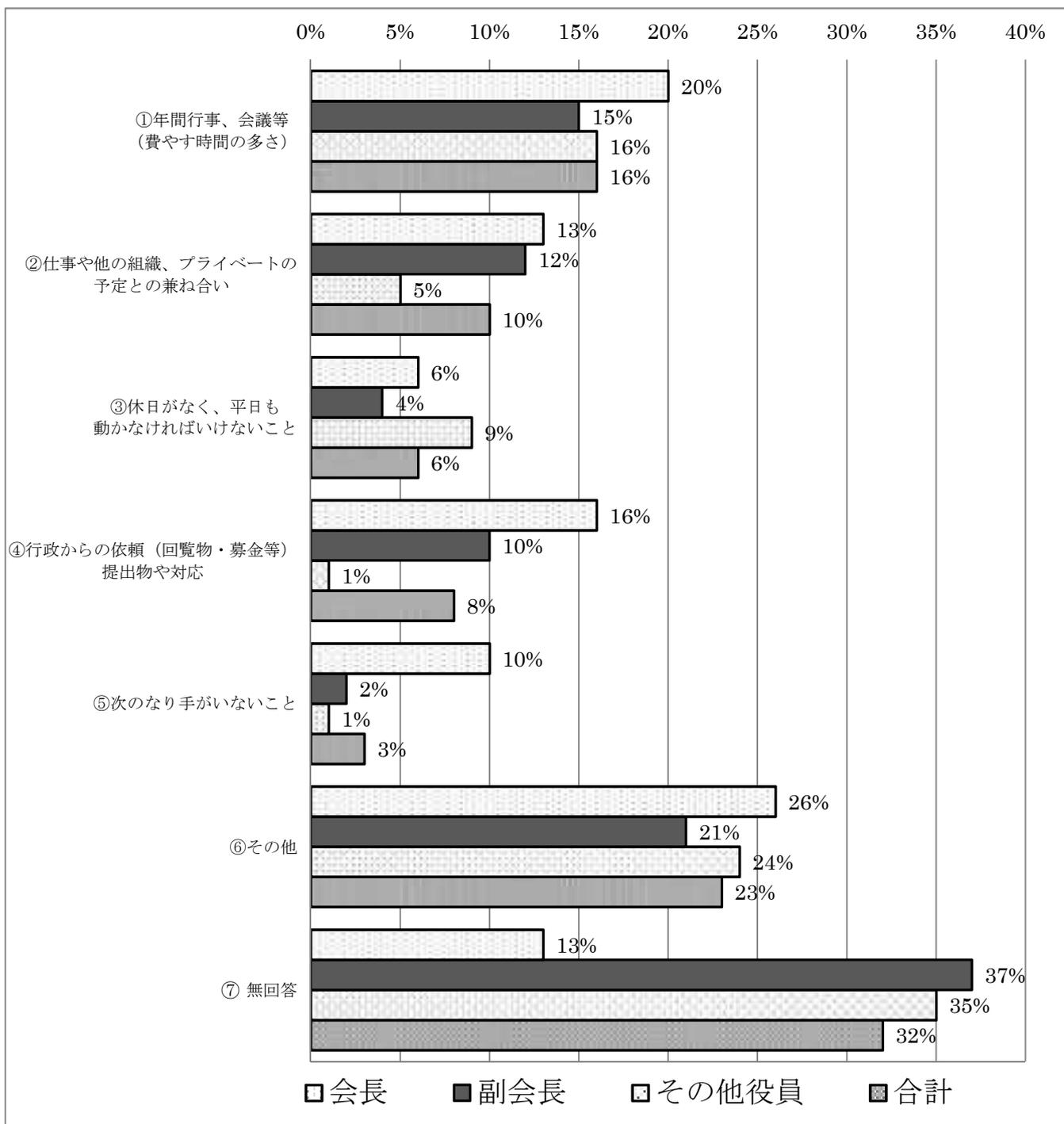
●会長 ◇副会長 ■その他役員

- お酒を飲める機会がもっと多くあっていい。
- 昔は町会に加入しないと生きていけないことも多くあったが、今はお金さえ払えばより良いサービスを受けることもできる。子どもが小学校を卒業してしまえば町会に加入しない方が楽。
- 役員をしなくてはならないなら、町会員を辞める
- 今まで楽しんでた趣味や旅行に行く時間が大幅に減少した。
- ◇休日の活動が多いため、生活の中での時間の制約がかなり大きい。
- ◇みんなで声を掛けると、意外と引き受けてくれると思う
- ◇町会の必要性が無い、ボスが決めて民主性がないと思っているのではないか。
- 引き受けたいと考えている人もいる。
- 町会に入っているからには、積極的に町会の運営に関与すべきと考える。
- 自分の時間は趣味（文化的なこと、スポーツ、旅行）をしたい。人前で話すことが苦手。
- 福生市では災害がほとんどないことから町会のありがたみを感じる機会に乏しい。

問5 今の役職に就いて、何が一番負担となっていますか？

問5は記述式であるが、回答内容を集計したところ、7つの項目に集約することができたので、下記の項目ごとに割合を算出した。

- ①年間行事、会議等（費やす時間の多さ、準備）
- ②仕事や他の組織、プライベートの予定との兼ね合い
- ③休日がなくなること、平日も動かなければいけないこと
- ④行政からの依頼（回覧物・募金等）提出物や対応等
- ⑤次のなり手がいないこと
- ⑥その他
- ⑦無回答



1 年間行事、会議等（費やす時間の多さ、準備）

- ◇行事に対する準備の負担が大きい（役員の仕事が多すぎる）
- 関連する団体の定期総会等の行事への出席
- 年間行事の内、特に夏祭り、桜祭りの事前準備、人員確保会計処理が負担。
- 熊川地区三役連絡会、菊見会は辞めてもいい時期に来ていると思う。世話人町会になった年は大変。町会の事で精いっぱいなのに。
- ◇色々な会議、集会への出席の多さ
- ◇時間的なもの。趣味などを理由に活動を断りづらい。
- ◇年間の行事が多いこと。準備が色々あり、非常に大変。
- ◇町会活動のために時間を確保する事。
- ◇行事の準備、実施に負担がかかっている
- ◇町会、福寿会その他ボランティア活動と重複するための時間が長すぎる。（断っても人材不足で断りきれない）
- ◇当町会は副会長職が3名でそれぞれ担当を分けており、私は前職が会計だったため財政担当副会長をしている。職業も会計関係のためさほど負担には感じていないが、行事が続く季節は時間的な負担を感じる時もある。
- ◇すべての行事の段取り、女性役員がいないので細かいところが大変。
- ◇■行事が多いので、自分の時間が取られること
- 毎月の会合、その他
- 役員を引き受ける以前に考えていたより、打合せや行事の予定作り準備、本番、後片付けやその他の多くに費やす時間の多さ。
- 保管や整理、買い物、準備。
- 行事が重なった時、資料配布や各種案内等の書類の作成と印刷
- 年間行事予定を見ると、行事予定が多い。都心に行けばいくほど年間の行事が少なく、ほとんどないところもある。また、他の組織で複数の役員をしており、町会はどうしても優先性に欠ける。
- 時間の負担。会合やイベントは少ないけれど、事前の準備（会合のある当日は都合をつける事等）

2 仕事や他の組織、プライベートの予定との兼ね合い

- 自分の予定と行政協力員の予定の調整が難しい事。
- 土日に事業があり、仕事とのバランスが難しく、体力的にきついことが心身ともにある。
- 仕事との両立、冠婚葬祭
- 古い町会ゆえの仕事の多さ。現役のサラリーマンのため、平日昼間に町会の仕事を行うのは正直きつい。
- ◇ほかの活動と日程が重なり、苦慮する。
- ◇いろいろな場面で、仕事の為出席できない時

◇■仕事との両立に苦慮している

◇町会以外に各種団体等の役職に就いていることから、各種行事や会議等が町会行事と重複してしまうことが多い。が、負担は感じていない。

◇他の役職や仕事との時間的バランスが取れないこと

◇仕事が忙しくて無理です。

◇大きな負担はないが、私事と日程的に重なる部分が多く、情報の伝達が不十分な場合が生じるので、他の役員たちに迷惑をかける。

◇会長と私は退職している為、市の行事、町会の行事へ平日に参加している。自分の予定もあり忙しい。

◇■他組織との折り合い、日程が重なったりすることがある。仕事をしているので、役員会や行事に参加できず他の役員に負担をかけてしまっている。

◇地域の祭礼を優先のため、継続してきたスポーツ競技を中断せざるを得なかったこと。

■都内で仕事を続けているので、休日の町会活動で休めず、疲れが残る。

3 休日がなくなること・平日も動かなければいけないこと

●活動に費やす時間。ほとんどの行事は土日に集中するため、企画、準備、実施、片付けと大きな行事は平日も動かなければ対応できない。

●町会内の行事の準備が多いため、休日が無い。

◇副会長の立場なので大きな負担は感じていないが、都心に通う会社員の為、休日のみ参加しており平日は全く動けない。会長が仕分けている回覧物の対応は絶対にできない。

◇ほかの役員も同世代なのでずいぶん助けてもらっているのもそれほど負担は感じていない。ただし、夏～秋にかけて行事が多く、土日はほぼ潰れてしまう。会社の行事、やはり副会長をしているスポーツ関係クラブとの調整が大変。

◇■休日の活動が多いため、自分の活動の制限が多い。

◇現役と役員との負担が大きい。7月等は特に毎週土日が町会行事や準備で潰れる

■現在書紀を担当しているが、休日をつぶすことが多く、少し負担ではある

■平日夜の打ち合わせは必要であるが、土日祝日の出が多い。町会の人数が減少しており、増加すれば考えようがある。

■平日は会社付近に単身にて生活しているため、週末福生に戻ってからの町会活動に取られる時間が負担になっています。

■会長と私が退職しているため自由な時間があり、主に行事への参加を担っているが、市や町会の行事への平日の参加で忙しくなっている。（自分の用事もある為）

4 行政からの依頼（回覧物・募金等）提出物や対応等

●補助金をもらったからといって縛られた行事をやらなければならないし、それについての報告書を提出しなければならないことがとても煩わしい。また当て職のようなものも煩わしく、会議に協力して出席すると出席者の中から上の役員にならされたりする。欠席者から選出して欲しい。

●特にないが、しいて言えば集金募金で集めたお金の管理

●行政からの「あて職」が多く。自分の時間が束縛されることがある。

- 行政からの要請が多すぎるが、町会長とはこんなものなのかと諦めている。特に負担とは思っていない。
- 行政への提出書類が多いこと
- 回覧物の多さ（仕分け作業）・募金集金の多さ。都、市への補助金申請における申請書類の複雑さ。
- ◇金銭的負担。また年4回ある赤十字等の寄付金の集金。
- ◇回覧等情報の提供は必要であるが、回数が多く、月に何度も来ることがある
- ◇■回覧物の資料作成
- ◇地域の負担より、市、各行政機関、団体からの要請が多すぎる
- ◇町会、市など他の役が多すぎる
- ◇■社協の募金で土日を3週分も費やしたこと。
- 募金の集金、精算。女性役員の役割が多い。

5 次のなり手がいないこと

- 後継者、次のなり手がいない
- 役員さがし、理事（2年）
- 6年前の自分と比較して、知力、体力共に衰えている。2年後、次期会長を受ける人がいなかった場合を考えると寝られない時もある。
- ◇町会の活動に参加する人、役務に就ける人をいかに作っていくか、次世代の後継者どう生み出すかが日頃の悩み。
- ◇任期後の役員候補探し等
- 役員等が高齢者のため、仕事を頼みづらい。

6 その他

- 古い町会の体質改善を図る為、自分の考えを理解してもらうこと。
- 町会の事で仕事が役員にだけ集中していること。
- 高齢化社会の中、ますます役員世代も高齢化が進む。いかに現役世代の協力を得、役員のコミュニケーションを図り、行うか。また、役員が高齢者のため、仕事を頼みづらい
- 三役（副会長）：地区長との信頼関係構築によるチームワーク作り。元役員：（町会長、副会長）との信頼関係作り。副会長：地区長の選任（改選時）
- 事務作業
- いろいろな意見があり、まとめるのに苦労している
- ◇お金の管理に対するプレッシャー
- ◇祭礼等イベントの準備でプレッシャーがある
- ◇年齢、体力的に自信がない。活動が大変になってきた。
- ◇今年いっぱい副会長をダブルで受け持っている為、多少大変な面もあるが、現在楽しんでやっている。
- ◇イベントについて何も知らない一般会員が苦情を言うてくること。私たちは時間をかけて準備しているのに。

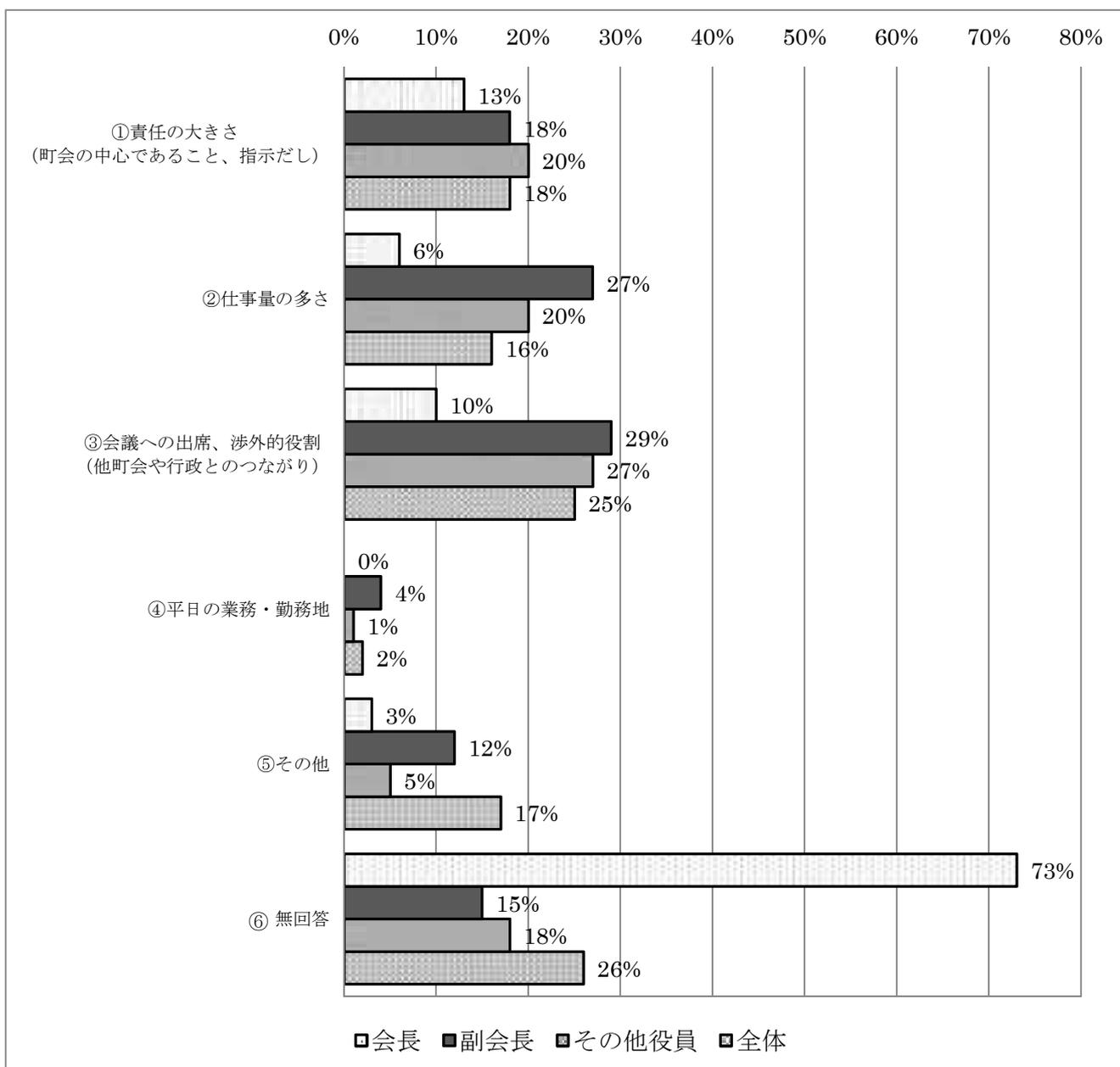
- ◇役職に就けば、やって当たり前と思われる。歳と共に言葉、記憶など忘れっぽくなり、運営に負担を感じる
- ◇考えすぎかもしれないが、地域の活動に必ず参加しないといけないと思っていること。三役会などの他の町会長たちとの交流会（必要なことだとも思っているか）
- ◇■引き受けた以上はやらなければならない仕事だと思うため、負担とは思っていない。
- 役職が会計なので人のお金を預かることが負担。
- 人のお金を管理する事。他の役員も、会計がすべての行事の買い物をするのが当然とされていて動かないこと。
- 祭礼、夏祭りなどの行事で、運営が大変（費用、人材）
- 行事に関する仕事の負担が大きい
- 人の名前がなかなか覚えられない。町会の行事が把握できていない。（年数の問題だとは思いますが）
- 各種の飲み会等の個人負担
- 人間関係、町会主催の行事への参加者が少ない。（盆踊り、祭礼、子供等好きなこと関係は多いが。）

問6 (町会・自治会長以外の方へ)役員と会長の負担はどのような違いがあると思いますか？

問6は記述式であるが、回答内容を集計したところ、6つの項目に集約することができたので、下記の項目ごとに割合を算出した。

- ①責任の大きさ(町会の中心であること、指示出し等)
- ②仕事量の多さ
- ③会議への出席、渉外的役割(他町会や行政とのつながり)
- ④平日の業務・勤務地等
- ⑤その他
- ⑥無回答

※会長以外の役員に対する問いであるが、一部の会長から回答があったため、割合を算出した。
 (そのため会長の無回答の割合が高い値として算出されている)



●会長 ◇副会長 ■その他役員

1 責任の大きさ(町会の中心、指示だし)

- 町会長は全ての責任があり、重い。役員は理事会で議論はすれど、町会長の指示にしたがい、実行していく立場だと思う。
- 会長は各行事の案件をまとめ段取りをつけて指示だし。役員はその指示に従う。
- ◇会長はまとめ役で、色々な行事がある為大変。役員は会長の補佐をするだけ。会長任せなところもあり、それが違い。
- ◇行事、出席が多すぎる。
- ◇役員は町会運営の分担分を行えばよいが、会長は町会行事等町会運営の責任が大きい。
- ◇責任の重さ、責任の大きさ
- ◇すべての最終的な責任者
- ◇お付き合いの支出、町会に係る時間の量
- ◇役員2：会長8くらい。町会長が大変というとなりの手がなくなる。
- ◇会長は中心となって動く、指導者的立場。その他の役員は後からついていくような感じ。協力はするが先頭にはなりたくない。
- ◇長としての責任感と、役員の義務感が見えるので精神的な負担も大きく違う。
- ◇会長は町会全体をまとめ、周知し全責任を背負わなければならない。他にも市政に携わることもある。役員は会長を補佐する、与えられた役職を全うするだけ、負担はさほどないと
- ◇責任を持った運営
- ◇役員は町会運営の担当分を行えばよいが、会長は町会行事など町会運営の責任が多く、負担が大きい。
- ◇会長は負担や責任が大きく、時間的経済的な余裕と地域における個人的な繋がりがある程度広くないとできないと思う。
- 会長には意思決定の権利と義務、また責任の所在が負担。それ以外の役員にはそれが無い。
- 会長の負担は役員より相当大きいと思う。
- 会長は役員より費やす時間も多だろうし、何よりも責任の重さ、重要性は他の役員と大きな違いがあると感じている。
- 会長ひとりでは町会運営はできないので他の役員も大切。もっとフォローがあってもいいと思う。
- 町会長は町会行事全般に気を使い、気が休まる時が無いのではないかと思われる。他の役員は自分の担当の仕事を熟せばよく、会長と比較して負担は少ない。

2 仕事量の多さ

- 維持的負担、業務過重負担、市との調整負担がある
- 会長の仕事の量が多く、仕事が集中しすぎている
- 会長は色々な行事に参加することが多い。
- とにかく会長の負担が大きい
- 会長は忙しい

- 会長は業務内容、スケジュール共に負担が大きい。町内会においても花代等金銭面の負担が多くなりがち。
- ◇よくわからないが、会長となると時間的負担がかなり増えると思う。
- ◇町会長は非常に仕事が多くて大変そうだ。
- ◇活動日数、あいさつの回数、家を空ける時間、日数。
- ◇活動に対する担当者が不足している為、会長の負担が大きく、全体を見るのが大変だと思う
- ◇会長を100として役員10程度の差があると思う
- 会長の負担が大変。その補佐を役員がすることだと思う。
- 会長は全般的に把握、役員は分担した作業を負う。
- 各種行事への参加等、仕事量が多く、時間的な負担が大きい。
- 役員は町内会の仕事で済むが、町会長は一人でも町内会以外の事もしなければならず、大変だと思う。
- 会長は一般会員より一層行事があるのではないか
- 活動行事は年次に決まっているので、他の役員はその都度決まったことをすればよいが、会長は報告連絡相談、回覧の作成、手配等かなり負担が大きいのではと思う。
- 役員は仕事をしていて時間がない。又は高齢のため、結局会長がすべて取り仕切っている。負担は会員よりもさらに多く、町会長の会議もあり、時間負担も大きいと思う。次にやってくれる人は出てこないと思う。
- 当町会は会長自らが企画・立案・実行と率先垂範しており、伝統ではあるが負担度合いが片寄り過ぎている。
- 会長の負担が重いので、副会長が出来るだけ分担すべきと思う。

3 会議への出席・渉外的役割(他町会や行政とのつながり)

- 会長は町会だけでなく学校・消防・社協・協議会・他町会への行事、会議出席あり。負担比率は会長8：役員2の割合。
- ◇会長は渉外的な活動があるが、役員は町会内部の活動が主であると思う。
- ◇規約によると、市から要請された唯一の会員のため、行政からの事項は一切会長が行うことになる。
- ◇町会の代表として各機関への顔だしや行事への参加等、会長の負担は大きい。
- ◇会長は町内の各種団体や個人との調整が相当多いため負担が大きいと思う。
- ◇会長は市と社協との関係が多いのでかなり負担が大きいのではないか
- ◇役員は各町会組長とのつながりや、町会会員とのつながりが主で多少大変さはあるが、町会長ともなると32町会の町会長とのつながりも広がり、更に大変だと思う。私は役員を楽しくやらせてもらっている。
- ◇会長は外部との交流、役員のとまとめ。役員は会長の指示に従う。
- ◇会長は様々な行事に列席しなければならないので町会の活動に十分関われないというイメージがある
- ◇会長と会計の負担が多い。会長は渉外、リーダーシップの負担、会計は事務処理量が非常に多い。
- ◇会長は他会長とのお付き合いの頻度が多く、交際費の負担が多いと思う。
- ◇会長は役員知らないところで行事への参加や市への提出書類の作成、町会運営の取りまとめ

がある。役員は与えられた職務を真面目にこなせば良い

◇町会長は町会内の事だけではなく、市の行事等の参加も行うので大変だと思う。

◇役員は町内会と範囲の業務が中心であるが、会長は役所並びに對外町会との会合があり、負担が多い。

◇行政のつながり、各町会とのつながり等、会長ひとりに負担がかかっている、雲泥の差がある。

◇市との窓口として諸活動への対応や、回覧物の配分など会長の負担は他の役員と比較すると大きいと思う。

◇町会長協議会への出席など定期的な会合があり、他町会とのつながりもあり大変なイメージがある。

◇町会長だけの集まりや会合がかなり多いように聞く。会長以外の人とはかなりの負担の違いがあると思う。

◇会長は町会活動以外に市の会議等も参加しなければならない、より負担がかかる。

◇会長は行政への出席や他町会とのお付き合いなど出席度合いが格段に多い。

■町会長は会議等を欠席できない。会長になってしまった人のお店は衰退する傾向にあると思う。

■市役所での平日の会合や他団体会合への出席

■関連する団体の定期総会等の行事への出席。

■会長は横のつながり、行政とのつながり等、負担が多いと思う。名誉職的な立場になってしまうように思える。

■会長は町内会の活動外にその他のつながりが大切だと思う。内部は副会長を含めた、役員の協力が大切。ただ、会長は要点をしっかりと伝える必要がある。

■会長の出席行事があまりにも多すぎる。仕事を持っている人は満足に体を休めることができないのではないかと。絶対に引き受けたくない。

■費やす時間。会議も含む町会行事以外に、学校、行政、各団体への出席、あいさつ、付き合いなど。

■行政との連絡・打合せ等の負担が多い。町会代表としての行事等の出席が多い。

■公社住宅のため、福生市、公社、自治協の3箇所との折衝があり、会長は大変だと思う。役員は会長の指示を受けて動いている。

■会議、催し物への参加の多さ、又、出費の多さ。

■他町会との交流等で町会以外にも関わらなければならない、費やす時間が多い。

■平日の集会を含め、様々な行事への参加が強要されているので、かなり自分の時間を割く必要があると思う。

■経験がないのでわからない。会長になると他の期間、団体の当て職で出ることが多いと聞いている。

4 平日の業務・勤務地等

◇会長は平日の日中に用事があり、現役で就労中の人には務めることが困難（特に会社員）

◇役員は土日中心の活動で済むが、会長は平日の業務が多くなる点で、65歳以下の現役には不可能と考えられる。

◇会長は地元の人でなければできない。また都心へ通勤している者は難しい。

◇会長の場合、平日に行事関係が入ることがあり、地元以外で会社勤めをしている者にとっては対応がとても難しい。

■今は自営業の方が会長をしてくださっている。会長をサラリーマンがやるのが無理なような気がする。

5 その他

◇会長は取りまとめや旗振り。副会長や会計はそれぞれの実務、作業内容に違いはあるが、それぞれの役をこなしていると思う。

◇会長の負担がどの程度か不明であるが、倍近い負担があると感じる。

◇回覧資料の取りまとめが煩雑そう。

◇半強制的に行事に参加しなくてはいけない。自分の時間の調整が必要になってくる

◇どちらもなり手がいないように、大変な仕事だと思います。

◇会長の多忙さが気の毒

◇外部からだとわからない

◇毎日気遣いで、色々負担が多い。たくさんの方が傾聴する必要がある。

◇回覧物、配布物の旧態様式による、物理的な負担。

◇各種気遣い

◇回覧の書類を分けたり、各理事へ配ることが大変だと会長から聞いた。

■回覧板の準備など回覧物の仕分けが大変だと思う。

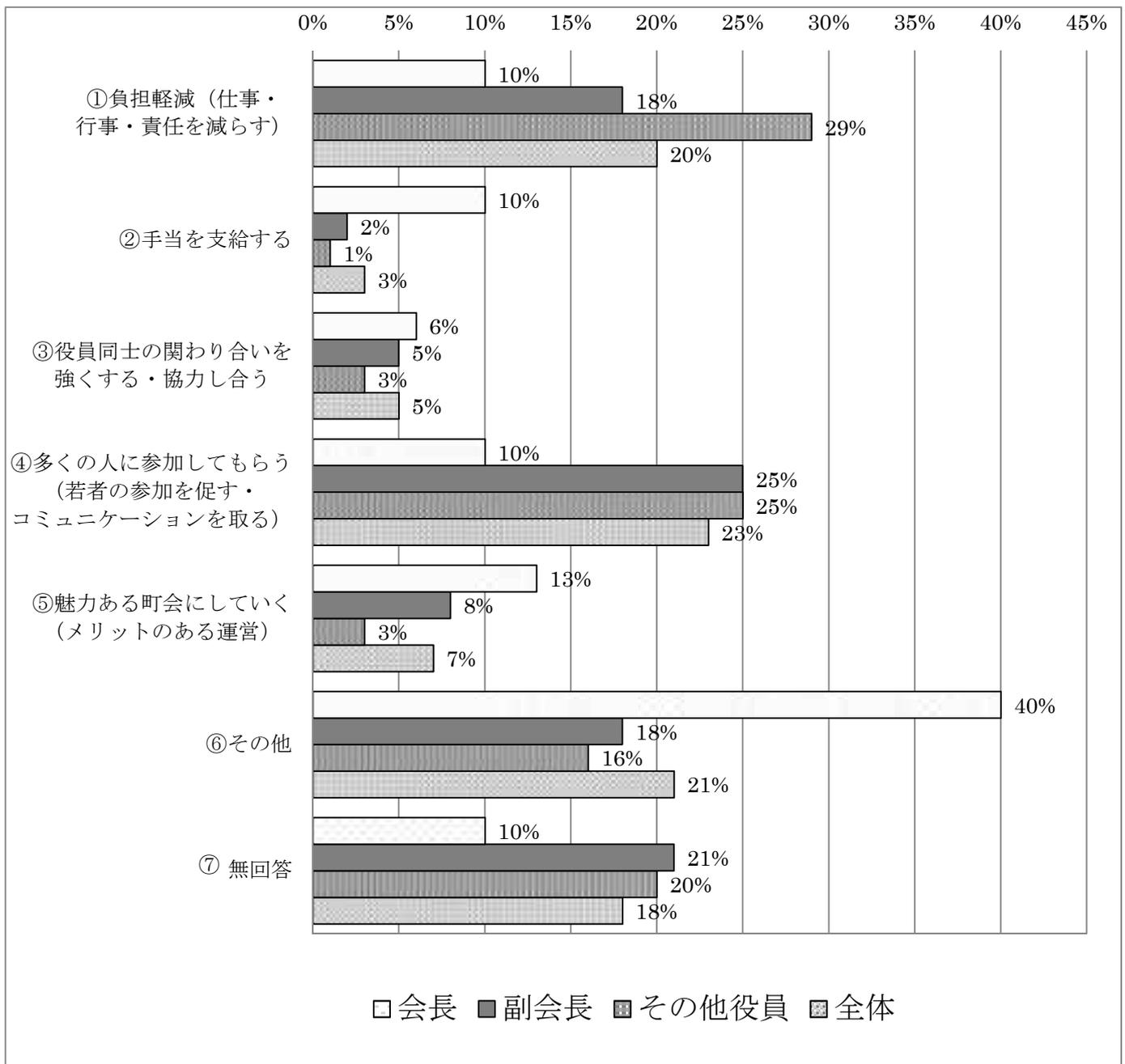
■私たちの町会ではできる限り手伝えることは一緒にするようにしているつもりですが、会長になると細かい必要物品の買い物や準備と、心配りが大変だと思う。

■会長職の方が年間行事への参加や立町会との交流、役員や組長、組員への配慮などで大変だと思う。

問7 役員をやっても良いと思える様な町会・自治会にするには、どのように変えていく必要があると思いますか？

問7は記述式であるが、回答内容を集計したところ、7つの項目に集約することができたので、下記の項目ごとに割合を算出した。

- ①負担軽減(仕事・行事・責任を減らす)
- ②手当を支給する
- ③役員同士の関わり合いを強くする・協力し合う
- ④多くの人に参加してもらう(若者の参加を促す・コミュニケーションを取る)
- ⑤魅力ある町会にしていく(メリットのある運営)
- ⑥その他
- ⑦無回答



1 負担軽減（仕事・行事・責任を減らす）

- 三役が活動への認識をしっかりと持ち、真剣に議論コミュニケーションを取る。一般会員の負担軽減、特に会議（回数、簡素化）等。
- 公的な二つ以上の役を兼務させない。（行政協力員や、〇〇委員会等）やらされている感が強い行事を思い切ってやめる。
- ◇三役、理事、組長の負担をできるだけ軽減する。（そのための会長の負担は増えるが）分担、当番などを取り入れ、負担感を減らす。
- ◇任期を2期4年位として制度化した方が良い
- ◇まず、各役員の人数を増員し、各々の負担を軽減できれば少しは役員になってくれる会員が増えるかもしれないが、その最初の増員すら難しい。（町会活動が地域の活性化になっていることは周知済みであると思う）
- ◇役員を増やし、負担の分散を図り、大変さを感じないようにする。仕事を持っている若い人にも負担を感じさせないような運営にする。具体的には難しいが。
- ◇サラリーマンでも役員が出来るように仕事をみんなで分担する。
- ◇役員に対する過度な期待、責任を取るような考え方をなくすこと。（町会運営は役員だけがやるという考え方をなくす）
- ◇担う役割が重すぎない、多すぎない事。仕事を明瞭化する。
- ◇他の団体への協力依頼や分担を増やす
- ◇回覧板の準備など時間がかかることに對し、行政より各町会にサポーターを派遣するなどして役員負担軽減をしていく必要があると思います。
- ◇高齢者が増えている為、町会自治会の行事を減らす必要があると思う。
- ◇平日の行事はなくす。在任期間は長くせず短期間でローテーションする。（長くても2期4年）
- 祭りを含む町会行事で会員の楽しんでいるのを見るのは活動していて良いと思う瞬間。しかし、そのための準備を簡素化したい。
- 役員もそうだが、組長さえもやりたくないという理由から町会に加入しない例もある。煩わしいとか面倒であるとか、人と人とのつながりが大切。会合を円滑に、集まりは重要な決め事のあるときのみにする。
- 他町会の役員の活動日数は分からないが、当町会の活動日数は特に多いように思う。これでは仕事を持っている人には特に勧めにくい。
- 自分が会長の時に、行事を減らすとOBからクレームがあると思ひ、減らしていないのが実情。幹事当番制の飲み会（懇親会）や各種行事を廃止してはどうか。
- 多忙な行事や役員会などを少なくし、負担をなくすのがベストだと思う。
- 年間行事、催事を極力減らす。できればポスター貼りだけでも主催団体に貼ってもらう。
- 大きな事業のため、毎日のように話し合いをするといった寄合を少なくしていく。個人に責任を持たせる事無く、全員の責任を確認し合う。
- 誰でも役員になるような順番制にする。必ず1期2年で終わるようにすること。
- はっきりとした任期制（通常2期4年、長くて6年まで等）

2 手当を支給する

- 行事をするのに資金が不足しているので、社協の小地域活動の助成金 10 万円を各町会に配布した方が良くと思う。行政協力員報酬を月額 10 万円に増額する事
- 役員にも多少の手当が出せれば良いと思う
- ◇役員に手当が必要
- 会長以外の副会長・会計にも手当を支給した方が良く。

3 役員同士の関わりあいを強くする・協力し合うようにする

- 人間関係を良好に保ち、行事の仕事を楽しんでできるようにする
- 役員をつながり多くして、一人一人の意見を出し合うことが必要。
- ◇役員同士のコミュニケーション（飲み会での交流など）を盛んにする。
- ◇仕事すべてに出席することは不可能。出られない時はお互いにフォローし合えるメンバーがそろろうこと。自営と勤め人との仕事量が違わないようにすること。
- ◇何でも言えること、協力体制がある事、町会員の積極的な協力がある事
- ◇■みんなが協力的である事。順番交代制にするなど、協力し合えれば良いと思う。
- ◇人の意見を聞くようにする事。
- ◇人と人との関わり合いが大切

4 多くの人に参加してもらおう(若者の参加を促す・コミュニケーションを取る)

- 町会各種団体、特に若い人の多い団体への援助協力による啓もう活動
- 従来の年間行事に加えて、会員側から参加してみたいと思ってもらえるような企画の検討。企画に参加することによって新たな交流の場となり、お互いに話し合いをすることによって地域に対する思いを共感し共有するのも一策ではないかと思う。
- ◇会員の前向きな協力が第一。一部の人でも非協力的な態度や言動を取ると、全体の空気も悪くなるうえ、他の人も「役員はやりたくない」という流れになってしまう。
- ◇若い年代層の入会促進と活動への参加。
- ◇居住するすべての世帯が住民登録と同時に加入する。（募金等は町会に委託するので町会員以外は対象外となるのは不思議）
- ◇一般会員が積極的に事業に参加し、町会を盛り上げる必要があると思う。
- ◇仕組みを変えようというより、会員の皆さんと日頃から言葉を交わしてコミュニケーションを取り合い、人間関係に温もりを増していく努力が必要だと思う。
- ◇PTA役員や小中学生との連携を強化する。そのため、青少年をなくし、町会の役員に充当するべき。
- ◇町会員と色々な行事でコミュニケーションを図る。
- ◇理事、組長さんが次の候補だと思われるので町会行事に参加願う。
- ◇全会員が、町会自治会に興味関心を持つこと
- ◇各人が、積極的に自治会運営に参加できるように若手の会員が必要
- ◇高齢の人が多いため、若い人が自治会に入っていないので大変だと思う

- ◇伝統の行事ばかりでなく、何をやりたいかアンケートをとって一般会員のやりたい行事をやる。
- ◇一般会員に協力してもらうこと。なんでも話し合えること。
- ◇地域の特性を生かした行事、外国人の参加しやすい（話しやすい）地域づくり、若い人の参加が必要
- ◇各世代の人達が気軽に参画できる雰囲気作りが大事だと思う。
- ◇町会のつながりの強化、町会活動の活性化などが考えられるが、なかなか難しいと思われる。
- ◇役員以外の参加が必要だと思う。
- ◇各種行事の誘いを通し、人間関係の構築をより図っていく必要がある。
- ◇町会の会員が増え、会員の方々が町会に協力的な町会
- ◇各家庭が町会に多数加入し、災害対策などの行政行事や町会の行事に)積極的に参加する町会。
- 町会の一般会員が積極的に資源回収や催事に参加できるように考える必要がある。
- 町会員がもっと積極的に参加できるよう、まずは楽しい催しを行えば良いと思う。
- なるべく多くの人に行事に参加してもらい、交流をすることが大切なのだと思う。
- 若い会員を増やすとともに、役員の若い世代への交代が必要だと思う。しかし、現状では若い人は町会を離れる傾向が強く難しい。
- 各役員の人数を増員し、各々の負担を軽減できれば、役員になってくれる人も少しは増えるかもしれないが、その最初の増員すら難しい。
- 子ども会役員等、若～中世代との交流を図り、関係づくりをしていく。
- 会員が楽しく行事に参加できること。役員の仕事の負担を見直すこと。
- 人の世話が好き、とか活動していて楽しいとか思ってもらえる雰囲気が出来ているか。
- 役員になってもいいという人が少ない。若い人がやってくると活性化になると思う。
- 一人一人自覚して、あいさつの励行

5 魅力ある町会にしていく(メリットのある運営)

- 楽しく
- 町会員が町会に加入していてメリットが得られるような運営がなされていること。
- 会員の満足度が高まるような町会にする必要がある。入ってよかったと思える町会にする必要がある。
- 現状、当町会は明るい町会なのでこのまま明るい町会にしていきたい
- ◇新たな縁や交流、新たな発見や楽しみを見出す活動をしていくことが必要。若い人が魅力を感じるような催し、気楽に参加できる行事を増やしていく。
- ◇魅力ある町会へ変化させる。大災害発生時、防犯や防災、交通安全や地域への貢献度を町内へアピールする。(目で見てわかるものに)町内の人の親睦を図る行事。
- ◇町会行事の夏祭り、運動会、ボウリング大会などを役員自ら盛り上げて楽しんで行うこと。
- ◇多くの人に町会行事へ参加してもらう工夫をし、町会行事の必要性、楽しさをアピールできる町会にしていく
- ◇町会離れが多い中、役員活動に理解をしてもらうのは難しいことですが、役員が生き生きと楽しそうに活動している姿を見せ、参加してみたいと感じていただけるようにする。楽しく、有意義に過ごしてもらうために、年間行事でお声掛けし、興味を持ってもらうようにする。強制するようなことはしない。
- ◇地域を発展させるために、地域住民に役に立つことを行っていく。

◇参加してよかったと思ってもらえるような行事を作っていきたい。

■誰もが興味を抱く魅力的な町会

■若い人が積極的に参加できるような魅力的な町会にしていく必要がある。

6 その他

●町会員の中で豊かな人生経験、技術、能力を持った人を発掘し、町会役員の中に招き入れられること。その人たちにやりがいと喜びを与えられる町会の在り方を推進できる町会長のリーダーシップ。

●小中高や消防との良好な関係づくり

●地元の伝統は残しつつも、人間関係は平等という雰囲気。

●市役所持って行く書類があるが、平日仕事がある40～50代の町会役員はなかなか行けない。（特に資源回収の担当の環境課は水曜の夕方以降と土曜はやっていないため困る）

●宗教問題の解決方法があれば

●役員は誰でも任せられるものではない点で人選が難しい。現在の雰囲気の中でやってもいいと思っている人もいる。

●世代に応じた役員人事興味に応じた担当行事、役員の選任（例 青少育連携担当理事・老人会連携担当理事・福利厚生旅行担当・防災関係担当など）

●現役員が次期の役員体制作りを考えて継続する。分かりやすい資料やデータの引き継ぎがある事。組、ブロックごとの輪番制を導入する必要がある。

●明るく、年功序列かつ業務参加等の思いやりが必要と思う。

●①情報の共有化に努め、役員以外の会員にも協力をお願いしている。②夏祭り等の準備、資材がどこにあるか前会長しかわからないことが多く、狭い町会事務所、防災倉庫の不用物を廃棄し、整理整頓をしている。③夏祭り、資源回収等の作業の簡素化を進めている。（今年会長になって継続中で来年の夏祭り時には終了予定）（再度マニュアル化書類の作成中）

●福生市全体で行事等の数を揃えたらどうか。自治体で負担が違うより、活動がしやすいのでは？

◇年齢構成を考慮した方がいいかと思う

◇役員負担を行政が地域に広報して知らしめる。自分たちから大変だとは言えない。

◇町内に住む人の意識が昔とは異なる。組長がまわってきたから町会を退会するといわれることも多い。どのように変えて行けばいいかアイデアが浮かばない。

◇現在は町内の事よりも福祉協議会、赤い羽根、赤十字等募金の下請け団体のようにこれらは別の方向で改善が必要。

◇仕事の関係で役員をやってもいい人に制限が出来ている。

◇特に変える必要はないと感じている。現在少子化が進んでいる為、しょうがないと思う。青年が福生市に家族と一緒に住みたいと思うようなまちづくりが必須と鑑みる。

◇役員は本人のみでなく家族も協力しないとならないので、その点が理解してもらえるような工夫も必要だと考える。

◇会員の少ない町会（本六・中央・本町）を統合する

◇活動できる人数が減っていく中で、町会・自治会の合併を推進していった方がいいと思う。

◇今のやり方はあまりにも前時代的で若い人の共感が得られない

◇役員は高齢者が多く、大変。変える方法がない。

◇自治会の活動が、目に見えて結果につながっていると実感できる事。自分のしたことで、誰か

が喜んでくれた、助かったなど結果が出せる工夫。

◇地域の伝統を継承しつつ、地元の古顔の方々に仕切りを控えてもらうこと。

◇町会の行事の内、特定の件のみ主体的に（運営等）参加できるメンバーを作っていく。祭礼のリーダーなど。得意分野や特技のある人が、業務の一端を引き受けていく、又は新たな催し物を模索する。

◇会員の減少等もあり、会員の協力も得られない状況でどうしたらいいのかわからない。うまい方法があれば聞きたい。

◇役員を引き受ける前は、役員の行う仕事の内容が分からず役員に就くことに不安を感じる。役員の行う仕事の内容をわかりやすいように資料を作成して説明する。

■なぜ町会・自治会が必要なのかを話し合える場を作り、その先にある役員の働きを知ってもらうこと

■みんなだんだん年を取っていくので役員が毎年同じになるのだと思う。変えたくても変えられないのでは。

■財政的な余裕がない。市役所からの財政援助をし、平日夜の打ち合わせ後の少しの飲食ができる余力が欲しい。構成員が増えなければどうにもならない。

■本人が役員を引き受ける時点で次期役員や任期が確定している等、少しでも安心感を与えられればよいと思う。

■仕事と生活の両立も難しい働く世代としては、町会の変化ではなく、生活全体の問題だと思う。

■特に変えていく必要はない。役員になっても負担は大きくないということをアピールする必要がある。

■町会の世帯数に変動がないが、各家庭の家族構成が大きく変わり、一世帯一人の世帯が増えてしかも高齢化が激しく、思いつかない。

■特に妙案はない。順番で決めればよいと思う。

■順番交代制にするなど、周りのみんなが協力し合えばよいと思う。

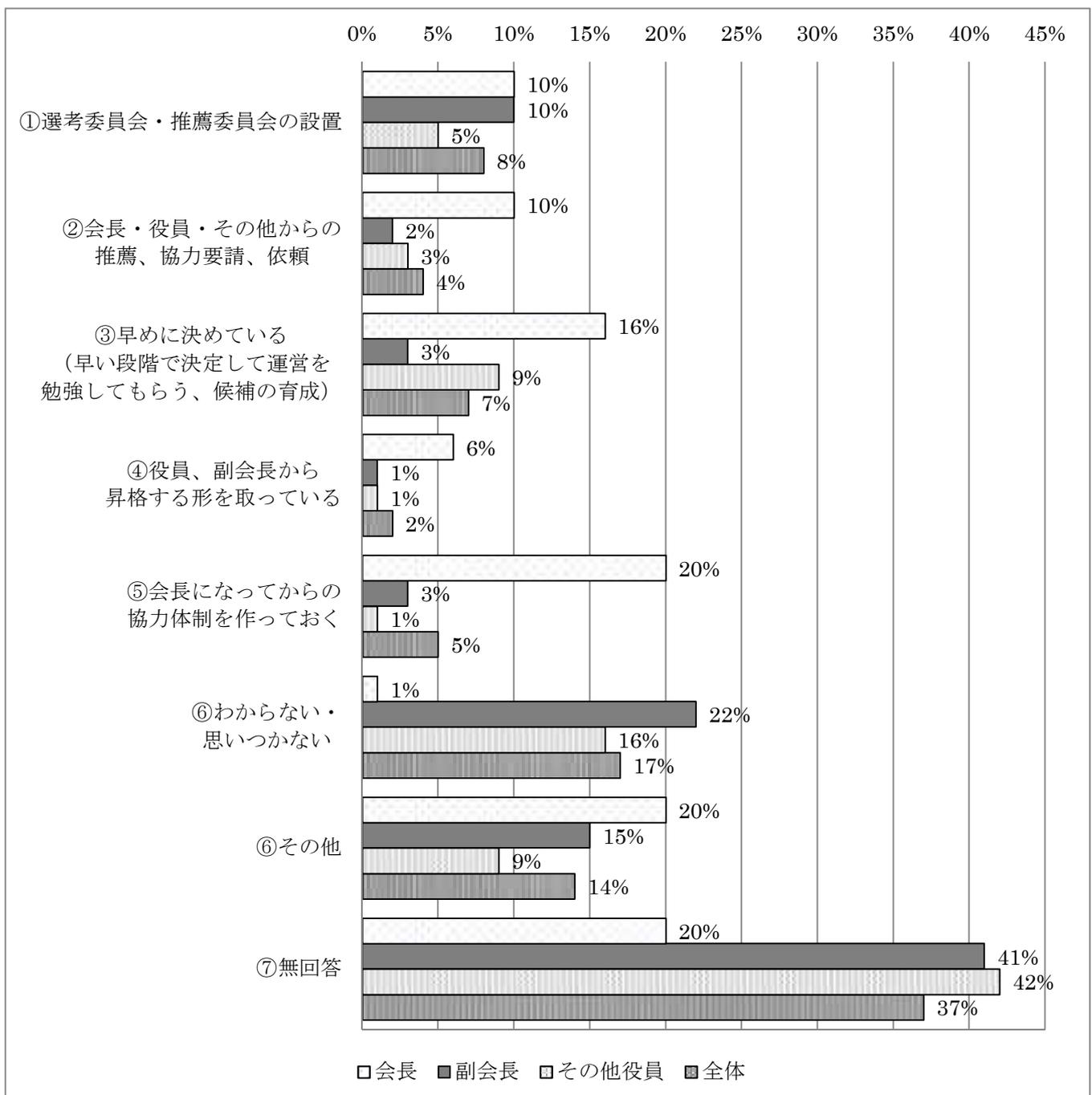
■全てボランティアでやっている。時間もほとんど費やしている。役員になり手が少ないのは負担が大きいからで、どのようにすればよいか悩んでいる

■すべての行事に出なければいけない、欠席すると負い目を感じるような風潮がなくなるといけないと思う。（役員の中には年配の方も多く、古くからのしきたりが残っているので個々の意識の問題だと思うが）

問 8 町会の会長交代が円滑に行われるように工夫していることがありますか

問 8 は記述式であるが、回答内容を集計したところ、7つの項目に集約することができたので、下記の項目ごとに割合を算出した。

- ①選考委員会・推薦委員会の設置
- ②会長・役員・その他からの推薦、協力要請、依頼
- ③早めに決めている(早い段階で決定して運営を勉強してもらい、候補の育成)
- ④役員、副会長から昇格する形を取っている
- ⑤会長になってからの協力体制を作っておく
- ⑥その他
- ⑦無回答



●会長 ◇副会長 ■その他役員

1 選考委員会・推薦委員会の設置

- 組長の中から数名の選考委員をお願いし、スムーズに会長交代を進めています。(選考委員会)
- 会長交代については従来、慣習的に副会長より会長が選考委員会に承認を得て総会によって決定することとなっている。なお、慣例で副会長の選定については町会長の選決事項となっている。但し今後は町会規約に入れる方向も検討課題と思う。
- 会長、副会長経験者の中から5名選出して「会長候補選考委員」に委嘱しているが、あまり機能していない。受ける人がいない場合、自ら会長にならざるをえない。2年後が心配。
- ◇◇役員選考会を作ってその人たちに会長等を決めてもらう。
- ◇改選前に選考委員会を設置して選考し、会長経験者等の意見も参考にしていく。
- ◇町会長経験者による選考委員会の開催
- ◇◇次期役員選定員会で役員を選ぶ。
- ◇歴代町会長7～8名の選考委員会を選定し、活動してもらっている。
- ◇役員選考委員会を立ち上げますが、選考委員が役員候補をお願いするのをかなり苦勞しており、委員になる人も少なくなってきた。
- ◇役員選考委員会で各世代の動向と役員適性を見て選考しているので、信頼できる人を選考委員に選ぶことが重要だと思う。
- 会長経験のあるOBで「町会長選考委員会」を組織し、知恵を出して選考している。
- 会長経験者により、次期会長候補選考委員会を開き、会則選考委員が該当候補者宅を訪問、依頼している。それでも苦勞しているのが実情。

2 会長・役員・その他からの推薦、協力要請、依頼

- 会長自身が次の会長を決め、そのつもりで意識し、活動を行ってもらうようにしている。
- 青年部、囃子連への協力要請
- 特に決まりはないが、自分が会長をしながら次につながる人材、町会活動について否定的ではない人を選んでいる。
- ◇暗黙の了解と、会長経験者でほぼ決定している為、工夫はない。
- ◇■現会長が、次期会長を推薦している

3 早めに決めている(早い段階で決定して運営を勉強してもらう、候補の育成)

- 大体は次の次位まで決まっている。
- 役員中に三役に入り、運営の中心になる勉強をしてもらって交代につなげている。
- 会長候補者には、一度事前に町会の会計担当を経験させる。副会長に町会全体の運営をさせてみる。(会長は対外中心)
- 改選時期の早い段階で候補者にそれとなく話しておく
- 行事は役割分担、責任を持たせて運営させ、知識経験を積ませている。

- ◇65歳以下の役員の中から、年代順に三役を構成し、65歳をこえて自由な時間が出来た人につながるように考えている。が、実際は難しい。
- ◇日頃の信頼関係を築き、数年かけて次の人を育てる。
- ◇任期2年の枠にとらわれずにできる人にはやってもらっている間に次の役員候補の目星をつける。役員で相談、吟味して次期役員へお願いする。
- ◇町会の規約を遵守し、早い時期からお願いしていく。
- 1期目、2期目の役員に町会の運営を引き継ぐよう配慮している。
- 大変難しい問題。早めに声を掛け、協力してもらえるように何度もお願いするしか思い当たらない。
- 会長候補を早く決め、役員活動、特に会計で町会費の動きをみる必要がある。
- 副会長を常に2～3年おける様に育成できるといい、と思っている
- 時期会長候補の育成

4 役員・副会長から昇格する形を取っている

- 副会長に、会長の仕事の伝達、分担。
- 役員の中から若い人材に役職（重要ポスト）を付ける
- ◇副会長から会長になるように促している。
- 現在、現役員の中から役員就任順の形を取っている。
- 副会長から自動的に昇格がいいのか・・・現状では色々候補者を選考し、訪問して本人の承諾を得るようにしている。

5 会長になってからの協力体制を作っておく

- 町会の役割を明確に規定し、情報をできるだけ公開し、説明責任を果たし、明朗会計を心掛ける。そのような町会運営をめざし、守り育てていく事が出来る限り、会長交代はスムーズにいくと思う。
- 副会長の数を3人以上に増やしている。飲み会の機会を増やし、コミュニケーションを図っている。
- 情報を共有し、役員のだれもが現状を認識できる状況を作る。
- 業務内容を認識することと、チームプレーで業務対応する事
- できるだけ三役と会議し情報を共有することで会長の仕事、町会の運営について理解してもらうようにしている。
- マニュアル作り、先を考えた役員選出、仕事の分担
- ◇年齢順に交代。（仕事をリタイアしてから参加する）前役員（副会長、会計など）の経験者が数名は残る事
- ◇今年度は役員を継続して務めている為、前年度の状況等を常時会長にアドバイスすることにより、交代時の業務を円滑に行えるようにしている。
- ◇会長の上の専従顧問を置く（ある程度の謝礼は必要）
- 役員が新会長に対して、協力を惜しまない体制、雰囲気作りをしている。

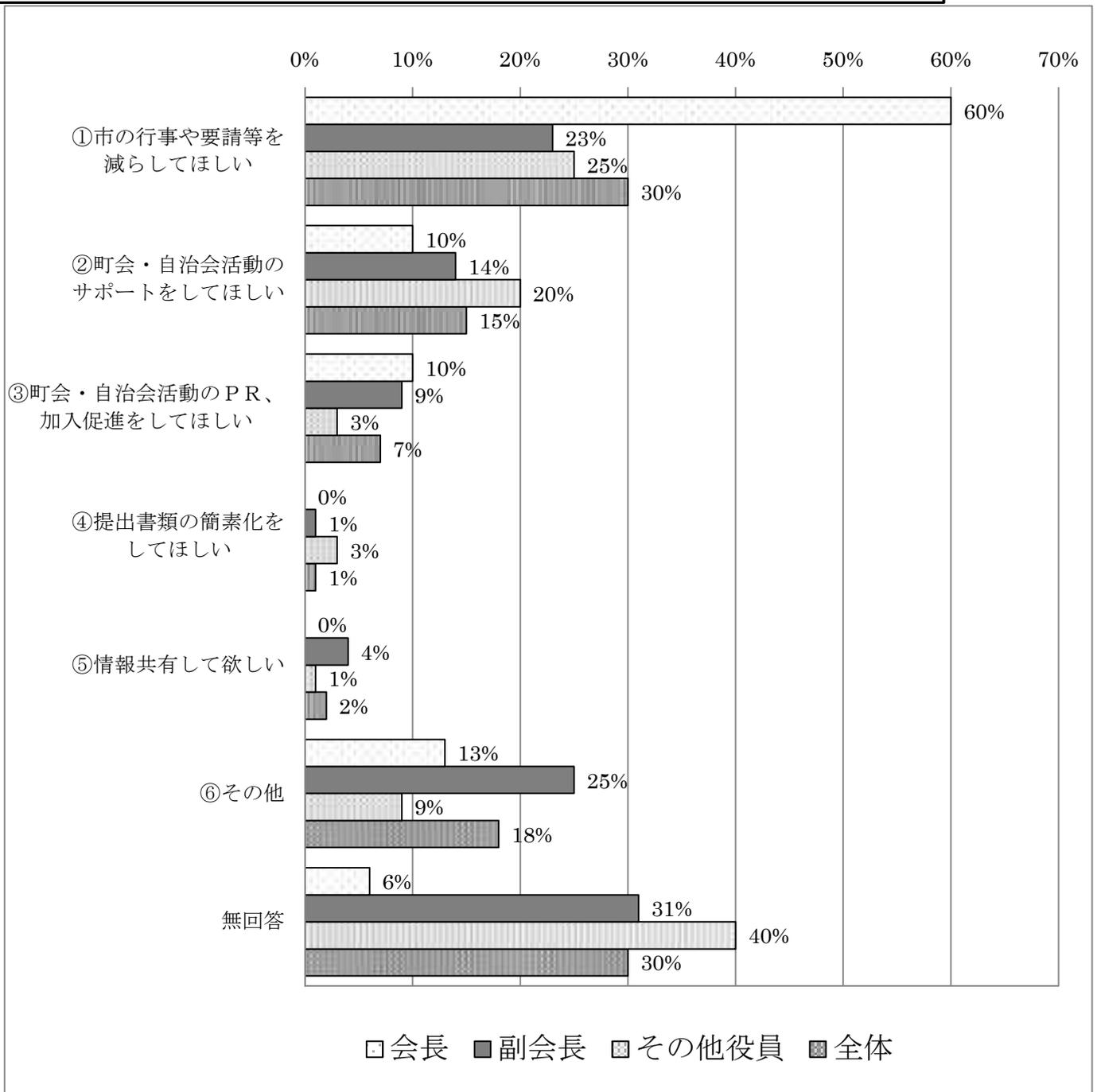
6 その他

- 明るく楽しい
- 副会長から会長への変化がスムーズにいかない。教えて欲しい。
- ないから困っている。
- 役員を50代前後の人から選んでいる。
- 一人の人に役割を集中させないこと。地縁も大事だが、ライフワーク、趣味、スポーツなどを通じた地域コミュニティーづくりを心掛け楽しい人間関係を作る。
- ◇現状での工夫はありませんが、2期4年を最長となる様に進めている。
- ◇暗黙の了解と、会長経験者でほぼ決定している為、工夫はない。
- ◇特に工夫はしていない。懸念事項ではあるが、「副会長までなら引き受けても良い」と考えるものがほとんどで副会長でさえ人材不足。
- ◇ボランティア精神で気楽に町会に参加できるような雰囲気作りが必要
- ◇会長経験者はほとんどの人が顔ども会役員の会長を経験した人が多いと思うため、そういった人とのつながりを大事にしている。
- ◇現状では候補者との話し合い
- ◇世代別に次の担い手が順番を理解できること
- ◇どんな会員の方がいるのか知っておくこと
- ◇できていない。
- ◇地域住民が参加していくこと
- ◇なかなか進んでいないが、役員（副会長等）の人数を増やしていきたいと考えている。
- ◇子ども会や青年団等の役員に町会活動を理解してもらい、お手伝い等をお願いしながら町会に溶け込んでもらう。
- みんなに信頼される方に会長になってもらっている。工夫は特になし。
- 特になし。現状では、一度受けたらやめられない。
- 行事に参加する人が高齢化しているが、若い人にも参加するような声掛けをしている
- 将来を見据えた役員の人選

問9 負担軽減のため、行政に求めることや協力してもらいたいことがありますか

問9は記述式であるが、回答内容を集計したところ、7つの項目に集約することができたので、下記の項目ごとに割合を算出した。

- ①市の行事や要請等を減らしてほしい
 (1) 回覧物 (2) 募金・集金等 (3) 行事・要請等の削減・変更
- ②町会・自治会活動のサポートをしてほしい (人的サポート・補助金含む)
- ③町会・自治会活動のPR、加入促進をしてほしい
- ④提出書類の簡素化をしてほしい
- ⑤情報共有して欲しい
- ⑥その他
- ⑦無回答



1 市の行事等や要請等を減らしてほしい

(1) 回覧物

- チラシや回覧は全戸配布しているので、改めて町会回覧にしないでほしい。(チラシ回覧枚数が多すぎる)
- 家に届く書類が多い
- ◇回覧、ポスターの依頼は各部署からの不定期をやめ、月一回の日を決めて欲しい。回覧、ポスターの削減：回覧とポスター両方発行はできる限り減らし、いずれかで充分。ポスターは最大A3サイズへ統一して欲しい
- 配布資料の配送。毎回自宅まで配達して欲しい。
- ◇小中学校だよりは直接、子供達に渡せば良いのではないかと。当地域は子供が少ないため、子供のいない家庭では学校行事等に全く関心はない。毎回配布物が多すぎる。資源の事も考えてはどうか。
- ◇回覧板の作成をもっと手間がかからないようにしてほしい。
- 市の配布物が多すぎる。町会は独立した地役団体で、市の下部機関ではない。
- 回覧が多く、配布が負担になっている。これは仕方ないが、町会活動の中で行事を多く行い、活性化している町会に対して交付金の増額をしていただきたい。
- 行政からの回覧配布物の減量化
- 回覧数を減らす。町会に加入していない世帯に配布されないのは何故か。それなら必要ないのではないかと。市広報で通知しているのなら重複している。

(2) 募金・集金

- 寄付、募金の集金方法を考え直してほしい。
- 組長から要望事項として「年4回ある募金の集金の負担が大きいので年1回、4回分の集金をする方法にしてほしい」とのこと。寄付先が異なるが、良い方法はないか。
- 桜まつりの集金(協賛金)をシティセールス課でやってほしい。(責任者が深夜でないと来ない店があり、0時を過ぎる)(シティセールスで新規記入分)
- 昔から活性化部会での答えの出せない課題になっているようだが、年4回の募金寄付金募集が組長拒否の要因になっている。
- 町会費は仕方ないとしても、それ以外の集金が多過ぎる。組長たちも四苦八苦している。集金業務がなくなることによって、もう少し気軽に町会活動をしてもらえるような気がする。
- ◇年4回ある募金集金活動の抜本的簡素化(町会関与廃止)を検討して欲しい。
- ◇いろいろな募金は町会にゆだねるべきではないのではないかと。募金する人は無償で、募金されたお金は業務の中、有償でやっているのではないかと。
- ◇仕事の町会への割り振り参加要請や募金活動の軽減を求める。
- ◇町会費の集金は組長が行っているが、社会福祉行議会の会費は担当地区の副会長が全て集金している。負担が大きいため、町会費以外の集金は辞めて欲しい。

- ◇募金の回数は減らすべき。(特に赤い羽根募金)
- ◇社会福祉協議会の会費徴収は組長業務としてほしい。(役員に求める業務が多すぎる)
- ◇募金の方法が煩わしい。もっと簡単な方法を考えて欲しい。袋詰め等、煩わしい。
- ◇町会長は行政協力員となっており難しい問題もあると思うが、会員の意見は圧倒的に社協会員募集や募金等の集金が負担になっていると思われる。

(3) 行事・要請等の削減・変更

- 「今年は何名出ていただく事になっている」「この町会は当番だから何名出て欲しい」等、上の方から人数を集めて欲しいと、報告書等を書きやすくするために出席を強要しないでほしい。
- 町会・自治会長以外に行政からの依頼による「あて職」が多い。それなりの手当もあるが、町会・自治会独自の運営には時間的・金銭的負担(お祭り、旅行など)もあるので行政協力員手当以外に手当を付加して欲しい。
- 市の業務負担が大きく、内部の課単位での依頼も多い。本来の町会業務を上回ることもあるため、これらを軽減して欲しい。
- できるだけ行政からの要請を少なくしてほしい
- 会議、集会への参加通知を吟味して欲しい。
- ◇役員の仕事もあるが、会員数が少なくなっていることの方が気になる。会員が少なくなることにより、役員になる順番が回る回数が増え退会される。→行事への参加が面倒だと良く聞く。
- ◇市や、社協で出来ることはなるべく市でやってほしい。
- ◇町会長協議会などは回数を減らし、土日祝日に行く。回覧文書を必要最小限にし、軽減する。町会員以外の家には必要文書をシルバー人材などの業者を使って配布しているが、町会に回している回覧文書も可能な限り業者を使って配布する方がいいと思う。今や青少年の存在はほとんどないと思う。町会機能の中に吸収して役員補充体制を強化すべきだと思う。
- ◇これから役員が高齢化していく中で、真夏の祭礼は倒れる人が出て来るかもしれない。祭礼は神社の問題ではあるが、時期の変更の提案は行政からもできるのではないか。
- ◇平日の行事はなくして欲しい。都心に通勤しており、平日は夕方、夜でも参加が難しい。
- 行政からの依頼が多い。(募金、交通安全テント、早朝あいさつ運動等)
- 行事、事業の削減、及び簡素化。
- 行事の低減と、補助金の増額。
- 今一つ求めることはありませんが、これ以上負担のかからないよう調査などを町会に回すのは辞めて欲しい。
- 当町会は毎年親睦を深めるため、熊川地区町会・自治会三役連絡会、菊見会と二つの親睦会が行われている。この会は伝統もあり、親睦を深める意義がある為今後も続けて欲しいが、どちらかひとつにしてほしい。当番役員の労力の軽減と町会員から預かった大切なお金を他の活動費に使うために(菊見会だけにしてほしい)
- 町会活動とは直接関係がないイベントは除外すべきだと思う。
- 市からの要請が(前に比べても)多い。自治会に入っていてよかったと思える何かが欲しい。役員だけでなく、自治会員であることに安心があればと思う。
- お願いという形で地域に押し付けることが多いと思う。

2 町会活動のサポートをしてほしい(人的サポート・補助金含む)

●会長間のコミュニケーションの場（悩み相談ができる場。会話7：酒3）を設ける。悩み多き会長が多いと思うので、まずはブロック別で実施するなどしてほしい。行政主催か、協議会か共催か。まずは会長に支援をしてほしい。

●補助金の増額、協働推進課職員の増員、会館建設

◇各行事で使用する資器材の搬入時に、車両の貸し出しをしてほしい。また、防災資器材の保守点検、及び管理を定期的に行ってもらいたい。

◇町会の集会所（会館）が無い。現在は狭くて不便。

◇受けたくないという気持ちを越えて、心身健康の維持と他への役立ちにつながるようなサポート作りをお願いしたい。

◇夏祭り等、町会の主要行事の時にぜひ市の職員に準備から関わってほしい。一緒に活動する中で職員の視点から様々な問題点や課題が見えてくるのでは。直接現場に入ってもらい、各町会の状況を肌で感じて欲しい。

◇金銭面での補助。

◇行事に参加して欲しい

◇補助金の拡充、市の施設使用の優先

◇回覧板資料の仕分け。掲示板へのポスターの貼り出し作業。お祭り等の行事の手伝い。若手職員の自治会加入促進、活動への参加。

◇家族等の地域活動への理解を得るために、毎月5000円程度の手当等。

◇補助金の増加、市の物品の貸し出し。

◇いくらかの手当があるとありがたい

■イベント、事業に対し、補助金だけでなくその事業にあった各行政、共通の在り方をできるだけ主催者の意向にかなう協力体制を作してほしい。

■財政的に厳しすぎる。平日夜の打ち合わせのちの飲食等親睦、余裕が欲しい。行政へ、町会の協力に見合う分の援助と自助公助共助の原点、町会が解散して困るのは自治体のはず。まずは減少の一途をたどる構成員を食い止める努力をしてほしい。行政は後ろを向き過ぎ。

■時期役員候補の育成（早期に指名する）

■市と町会が一緒になってイベントや町会をまたいだ交流会を開いてほしい（単なる飲食会ではなく、継続的にできるもの）

■一つの会議（三役会等）行事、派遣等、町会・行政・学校などの会議に出たら500円など、手当を出すことを認める。又その補助金も検討して欲しい。

■町会への補助金の大幅アップ。

■①当町会は事務所が手狭なため、もっと広い町会集会所が欲しい。②懇親会を続けるのであれば、企画、立案、実行を行政でお願いしたい。

3 町会・自治会活動のPR、加入促進をしてほしい

●役員のみならず手も議題だが、町会加入率の減少が最も大きな事である。各町会も加入促進のPR・勧誘活動を行っているが、市も広報で特集を組むなど市民に見える形で町会活動の必要性等訴えて欲しい。

●町会自治会の存在意義のPR

●町会に入ってくれる人が少ないので、市で条例を作って、必ず町会に入るようにしてほしい

◇行政が役員の負担軽減に何ができるかわからないが、町会加入者が減少しているので行政での啓発活動を強化して欲しい。

◇町会加入への働きかけの広報。若い世代への入会を促進するために町会費用への補助金を出してほしい。新役員のために、福生市の公共施設や地図等の発布が欲しい。

◇町会・自治会加入の重要性を市民に理解して頂く広報活動の活性化をお願いしたい。

◇町会活動の重要性の周知。加入率の向上。行政と町会の協働によるまちづくりの推進。

◇行政が町会の必要性を説くべき。町会脱退の理由の一つに「入っても入らなくても、行政から必要なことは通知があるので面倒な世話はしたくない」という理由を挙げる人が多い。そのため行政が旗振り役になって、メリットにつながることを考えて欲しい。

◇各町会に対し、担当を決めてサポートすることをお願いしたい。また、「町会に入らないと最低限の行政サービス以外は受けられず町会に入らないと困る！といったような町会加入のメリットを行政として出してほしい。町会加入が当たり前の雰囲気作りも併せてお願いしたい。

■広く、町会・自治会の必要性と、会員全体の役割分担（負担）を知ってもらえたり考えてもらえたりするような市民への働きかけをしてもらえると嬉しい。例えば市の広報に特集したり、別チラシを入れ込んだりなどはどうだろうか。

4 提出書類の簡素化をしてほしい

◇提出書類をもっと簡素化して、わかりやすいものにしてほしい。

■行政の報告書で特に各種会計報告が大変である。PCで自動計算できるようなシステムがあればかなりの負担軽減になるのではないか。

■例えば、学校施設使用許可等事務手続きのオンライン化など

5 情報共有して欲しい

◇行政職員もサラリーマン化し、町会役員も自営の方が少なくなっている。意思疎通を図ることから始めてもらう。少なくなる予算に期待することは厳しいしいので、優良な取り組み（他町会の活動）を共有化できる情報提供をお願いしたい。

◇町会が必要とする法令についての情報提供が不足している。他の町会等の好事例、工夫等の情報提供が欲しい。

◇情報提供。自分の住んでいる周りにどのような人がいるか不明。各グループと横のつながりを見て欲しい。地域住民（高齢者多い）などに対するアドバイス。

◇各町会自治会でやり方は異なると思うが、円滑に運営している町会・自治会のやり方の情報収集やフィードバック。

■このアンケート結果での各町会の取り組みを知りたい。（以前「こまじいのうち」地域活性化アドバイザーの講習会があったが、私にとってはあまり参考にならなかった）

6 その他(意見等含む)

●町会の事業に熱心に協力してくれる人は高齢で保守的な人が多い。またいつも同じ人たちが関わってくれるが、金太郎飴みたいなどころがあるので、町会の枠を広げて実施できる事業があってもいいと思う。町会を活性化するために、生涯学習的手法を取り入れること。もっと女性が参画できる町会運営を推進する事。(立川の大山団地の佐藤自治会長のような女性を育てていくこと)以上の事を行政として考えて欲しい。

●協議会の視察研修旅行の日程を4月までに決めて欲しい。町会行事が重ならないように予定を決めたい。

●従来の町会長協議会、行政協力委員会会議の在り方について検討すべきではないかと思えます。行政側と町会長理事会において現状の問題点、各町会長の意識調査も必要と思う。

●4月に会長になった時、目安箱を設置して会員から「どうしたら役員や組長を引き受けてもらえるようになるか」を聞きたいと思ったが、実現はしていない。来年度組長の改選があり、輪番制の組もあるが、各組の意見を聞いて組長役員の負担を軽減できるようにしていきたいと、日々考えている。

◇役員は負担ばかりで存在感があまりない

◇「補助金を出すからあとは町会で全部やれ」が目立つ。イベントをやっても二人ぐらいの職員が自分らの与えられた作業をやるのみで、町会の人達への協力は全くなし。

◇住宅の増加に伴い、その場しのぎの区割りになっているので、区割りがバラバラ。行政主導で新たな町会活動用の区割りをしてもらいたい(旧来の近所づきあいはその人たちに任せる)。町会に加入していなければ受けられない様なメリット効果を考えてもらいたい。

◇資源回収は現在、市と町会とPTAが別々に行っているがそれだと各町会のお子さんやお父さんお母さんが大変だと思う。現在町会を対応してくれている引き取り業者へ市がコンタクトをとり、うまく一回で回収できるシステム作りが出来たら良いと思う。引き取り業者含む市及び町会、PTAも金銭的には長年のデータがあると思うので。みんなが楽で、うるおい、きれいな町内になれば良いと思う。

◇町会に入ってもなにもメリットがない

◇資源回収に相当な時間が取られる。福生市は、他市に比べ資源回収への予算が多く不自然。各団体への補助金は資源回収という方法ではなく、これまでの活動に応じて配分すべき。

◇協力を要請したら迅速な対応。酒の席を強要しないよう、適度に。

◇地域毎の役員を作り、その人とのコミュニケーションを取りたいため、人事異動はなくして欲しい。

◇防災訓練の際の老人安否確認作業は民生委員もやっている作業なので町会で二重にやらなくても良いのではないか。

◇行政は自治会に頼り過ぎていると思う。全てを自治会に通すことにより、より市民(自治会)の自主性を重んじているように見えるが、もっと共同体として足もとを見て欲しい。

◇会員の少ない町会の統合推進

◇今やっていることが、本当に地域のためになっているかどうかをもう一度見直してもらいたい

◇町会からの相談、クレーム等を聞いて素早い対応をお願いしたい。(目で見て分かる効果で)

◇常に連絡して少々なことでも協力していただくこと。

◇対応窓口の時間調整(平日休みを取得しない)。会計は当該窓口の出納データを領収書の原本提出で。募金、バザー協力の緩和で実態(自主性)にあったレベルにする。

◇中学校のクラブ(地域活動を創成する)とリンクし、活動をサポートしてもらおう。地域活動の

理解を深めることと、啓蒙教育的なこと。

◇学校PTAの地区役員の皆さん（小、中共）は町会との連携にしっかり取り組んでくれているのだが、学校側と町会との関わりが希薄であるように感じられる。学校長やPTA会長（その周辺）が変わると、対応の仕方も変わることがあるようだ。ボランティア教育や、地域教育の取り組み面からも児童と地域との関わりを考え直した方が良いのではないか。

◇会長の行う仕事量を減らす。特に平日に行う業務を少なくする。役員の金銭的負担を少なくする。

■今年より新しく役員を任されているが、それほど負担に感じたことはない。今まで何年もの町会運営がなされているので、かなり負担は軽減になってきていると思う。

■役員が年々高齢の人が多くなり、力仕事が大変なので何かいい方法はないか。

■町会、自治会それぞれのメリットがはっきりしない、説得力がないので加入が少ない

■行政に求めることではなく、全員が協力一致し、自治会を運営すべき。

■町会活動はボランティアであることを良く加味して欲しい。

5 各問の考察

問1 あなた自身についてお聞きします。

- ・ 役員の割合は男性が約8割で、年齢は60歳以上が過半数を占めている。また、職業を見ると無職（年金受給者）の割合は4割弱であり、何かしら仕事を持ちながら町会・自治会活動をしている役員の割合が多いことがうかがえる。

問2 あなたが役員を引き受けたきっかけ、理由を教えてください

- ・ 全体で見ても、依頼や推薦が3割弱を占めている。記述の詳細を見ると、任期2年の約束で始めたが後任者がいないため続けているとの回答も多く、後任者を探すことが難しいことがうかがえる。
- ・ きっかけとして退職が挙げられており、退職後には時間的余裕が出来ることから、次の活動のステージとして町会・自治会活動をしている役員も多くいることが分かった。
- ・ 町会・自治会にお世話になったため恩返しをしたい、地域の役に立ちたいとの思いから活動をしている役員も多数いることがうかがえる。
- ・ 「誰かがやらないと町会・自治会が立ち行かない」との思いから役員を引き受けた会員が、会員の高齢化や若年層の不足により、引継ぎができなくなっている現状がうかがえる。

問3 役員としてあなたの考えに近いものを教えてください。

- ・ どの役職で見ても、「あくまでもボランティア活動なのでなるべく負担は少なくしたい」という回答が一番多く、会長は2番目に、副会長その他役員は3番目に「負担は大きいけれど自分が地域に役立つことで誇りが持てる」とする回答が多く、活動の負担は少なくしたいが地域の役に立ちたいと考えている役員も多数いることがうかがえる。

問4 一般会員は役職に就くことをどう思っていると思いますか？

- ・ 「行事の手伝いはするが、役員にはならない」が一番多く、次いで「ボランティア活動といっても、費やす時間の負担が大きい」が多く、役員になることで責任や義務、時間的制約が生じることを嫌う会員も多数いることがうかがえる。
- ・ 「人間関係が煩わしく面倒そうだ」「興味がわかずあまり関わり合いたくはない」という意見も多くあった。その他回答にも「昔は、町会に加入しないと生きていけなかったが、今は（中略）加入しない方が楽」とあるように、時代の変化と共に会員の考え方も変化しているとうかがえる。

問5 今の役職に就いて、何が一番負担になっていますか？

- ・ 全役職で「その他」の項目を除いて「年間行事、会議等（費やす時間の多さ、準備）」が最も多く、特に年間行事の多さとその準備を負担に感じる役員が多く、様々な面において活動の見直しを行う時期に来ていると考えられる。

- ・ 2 番目以降の項目は、役職により意見が異なった。会長は「行政からの依頼」が多く、副会長では「仕事や他の組織、プライベートの予定との兼ね合い」が、その他役員では「休日がなく、平日も動かなければいけないこと」が多かった。
これらのことから、役職による負担に感じる点は異なるが共通して、活動時間を捻出することが負担であることがうかがえる。
- ・ 「次のなり手がいないこと」また「役員が高齢化し、仕事を頼みづらい」などの意見が一定数あることから、役員が高齢化する中で次世代の役員をどう生み出すかが、役員の心の負担となっていると考えられる。
- ・ 高齢化が進む中で、行事への参加者は減少している。慣習的になっている行事から本当に地域の役に立つ行事へと見直し、更に、準備に費やす時間を減らす必要があると考えられる。

問 6 (町会・自治会長以外の方へ) 役員と会長の負担はどのような違いがあると思いますか？

- ・ 全体で見ると「会議への出席、渉外的役割」を回答した役員が一番多く、次いで「責任の大きさ」「仕事量の多さ」の項目は同程度だった。現在、32 町会・自治会長全員が行政協力員を兼任しており、それが大きな理由だと考えられる。また、役員は他の町会・自治会や組織とのつながりについて、負担が大きいとは感じているようである。
- ・ 問 4 にも通じるが、町会・自治会の外に出て活動するのが負担と考える人が多いことがうかがえる。

問 7 役員をやってもいいと思えるような町会・自治会にするには、どのように変えていく必要があると思いますか？

- ・ 「その他」を除き、各役職それぞれで「負担軽減」と「多くの人に参加してもらう」の 2 項目の回答が多かった。
具体的な回答内容では、「役員の高齢化に伴い、行事を続けていくのが大変」、「もっと若い人の力が必要、若い人に参加をしてほしい」という回答などがあり、世代交代が進まないことから役員の負担が徐々に大きくなっていることがうかがえる。

問 8 町会の会長交代が円滑に行われるように工夫していることがあればご記入ください。

- ・ 「その他」を除き、「選考委員会・推薦委員会」を設置するとの回答が最も多く、次いで「早めに決めている」「協力体制を作る」との回答が多かった。
しかし無回答をはじめ、「わからない」や「ないため困っている」との回答割合も多く、具体的な対応に苦慮していることがうかがえる。

問 9 役員の負担軽減のため、行政に求めることや協力してもらいたいことがあれば教えてください。

- ・ 全役職で「行事や要請等を減らして欲しい」という回答が多いことから、行政から町会・

自治会に依頼がある行事・活動が本当に地域の役に立っているかどうかを見直していく必要があると考えられる。

- 市や関係機関はこのアンケート結果を踏まえて、取り組み方を考える必要があるものと思われる。